

U/Cサーバ 10.4.0  
インストールマニュアル

株式会社 広告EDIセンター

## 注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

Microsoftとそのロゴ、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、WordPadは米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。  
Adobe AIRは、Adobe Systems Incorporated. (アドビ システムズ社) の商標または登録商標です。  
Apache Tomcatは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。  
PostgreSQLは、PostgreSQLの商標または登録商標です。  
その他、各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2021/06/30	新規作成
2	2021/11/12	「3. 2. 1. U/Cサーバの停止」に注意事項を追加

<b>1.</b>	<b>はじめに</b>	<b>6</b>
1.1.	名称について.....	6
1.2.	U/Cサーバの動作環境について.....	6
1.2.1.	ハードウェア.....	6
1.2.2.	ソフトウェア.....	7
1.2.3.	ネットワーク.....	7
1.2.4.	動作条件.....	7
1.3.	インストーラについて.....	7
<b>2.</b>	<b>U/Cサーバのインストール</b>	<b>8</b>
2.1.	インストール手順.....	8
2.1.1.	インストーラの実行.....	8
2.1.2.	データベースの初期データ登録.....	21
2.1.3.	U/Cサーバの起動設定.....	22
2.1.4.	アプリケーションの関連付け.....	24
2.1.5.	OSの再起動(U/Cサーバの起動).....	25
2.1.6.	CA証明書の適用.....	25
2.2.	その他設定手順.....	26
2.2.1.	ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール).....	26
2.2.2.	SystemManager、TaskManagerの別端末へのインストール.....	26
<b>3.</b>	<b>U/Cサーバのバージョンアップ</b>	<b>27</b>
3.1.	注意事項.....	27
3.2.	バージョンアップ手順.....	28
3.2.1.	U/Cサーバの停止.....	28
3.2.2.	SystemManager、TaskManagerのアンインストール.....	28
3.2.3.	インストーラの実行.....	29
3.2.4.	不要フォルダの削除.....	39
3.2.5.	サービス設定変更.....	39
3.2.6.	U/Cサーバの起動.....	40
3.3.	SystemManager、TaskManagerの別端末でのバージョンアップ.....	40
3.4.	エラーが発生したときは.....	41
3.4.1.	対応方法.....	41
3.4.2.	インストーラの再実行.....	43
<b>4.</b>	<b>U/Cサーバのアンインストール</b>	<b>44</b>
4.1.	アンインストール手順.....	44
4.1.1.	SystemManagerのアンインストール.....	44
4.1.2.	TaskManagerのアンインストール.....	44
4.1.3.	PostgreSQLのアンインストール.....	45
4.1.4.	広告EDI UCSのアンインストール.....	47
4.1.5.	システム環境変数の削除.....	49

4.1.6.	U/Cサーバの起動設定の削除 .....	49
4.1.7.	データベースのデータの削除 .....	49
4.1.8.	U/Cインストールフォルダの削除 .....	49
4.1.9.	ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール) の削除 .....	49

# 1. はじめに

---

このマニュアルは、「U/Cサーバ バージョン10.4.0（以下、U/Cサーバ）」のインストール手順、およびバージョンアップ手順、環境設定方法について記述したものです。

## 1.1. 名称について

本資料において使用する名称は以下の通りです。

- PostgreSQL  
U/Cサーバが使用するデータベースアプリケーションです。
- Apache Tomcat  
U/Cサーバが使用するアプリケーションサーバです。
- Adobe AIR  
SystemManagerとTaskManagerを実行するためのランタイムライブラリです。
- SystemManager  
広告取引EDIシステムと通信するための設定等を表示・入力するクライアント画面です。
- TaskManager  
データ交換を行うためのスケジュール登録などを行うクライアント画面です。
- UCController  
U/Cサーバ全体を管理する機能です。
- ScheduleController  
U/Cサーバのスケジュール起動を管理する機能です。

## 1.2. U/Cサーバの動作環境について

U/Cサーバの動作環境は以下の通りです。

### 1.2.1. ハードウェア

表 1-1 U/C サーバ動作環境(ハードウェア)

環境	条件
CPU	2コア以上推奨
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	U/Cサーバインストール時に必要なディスク容量 約1000MB

## 1.2.2. ソフトウェア

表 1-2 U/C サーバ動作環境(ソフトウェア)

環境	条件
OS	Windows Server 2012 Standard (64bit) Windows Server 2012 R2 Standard (64bit) Windows Server 2016 Standard (64bit) Windows Server 2019 Standard (64bit)
ミドルウェア	Adobe AIR ランタイム ※HARMAN社から無償配布されています ※下記URLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。 <a href="https://airsdk.harman.com/runtime">https://airsdk.harman.com/runtime</a>

## 1.2.3. ネットワーク

以下いずれかのネットワーク環境が整っている必要があります。

表 1-3 U/C サーバ動作環境(ネットワーク)

環境	備考
インターネット接続 (TLS接続)	お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。
統合型閉域ネットワークサービス (旧サービス名:DCAN)	ご利用にあたっては別途料金が発生します。 詳細は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

## 1.2.4. 動作条件

U/Cサーバの動作条件は以下の通りです。

- 動作環境のOSおよびミドルウェアが正常に動作していること
- ネットワーク設定が行われており、通信ができる状態であること

## 1.3. インストーラについて

U/Cサーバのインストーラ(setup.exe)は、初期インストールとバージョンアップのどちらにも対応することができます。インストーラを実行すると、以下の条件に従って、自動的に該当する処理の開始画面が表示されます。

- 初期インストール  
U/Cサーバ バージョン 10.0.0 以降のバージョンがインストールされていないこと
- バージョンアップ  
U/Cサーバ バージョン 10.0.0 以降のバージョンをインストール済みであること

## 2. U/Cサーバのインストール

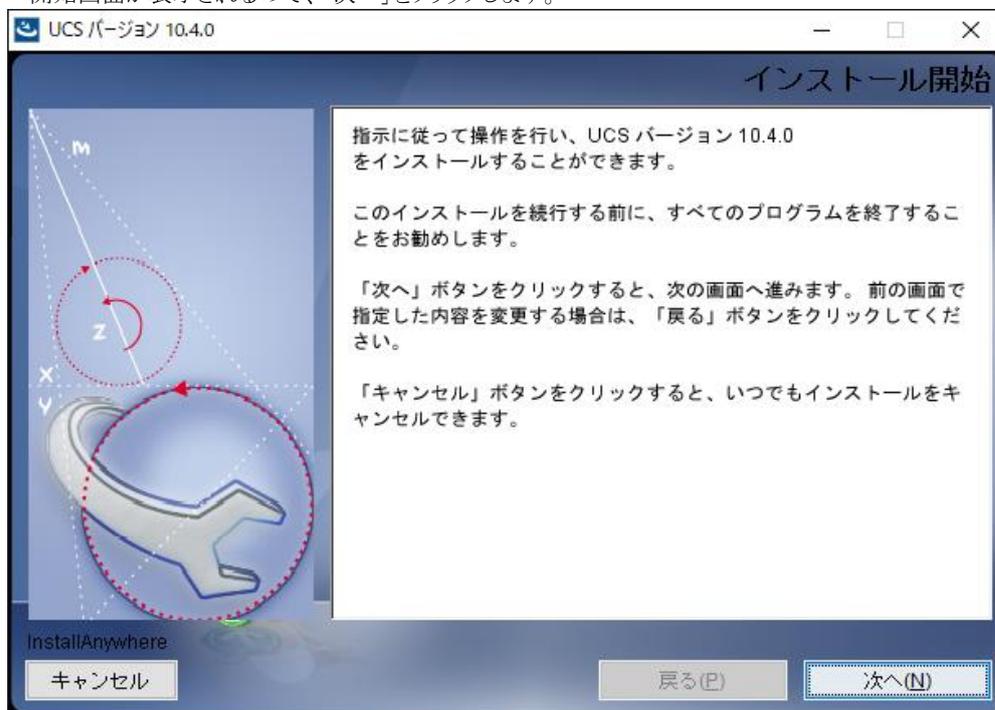
本節ではU/Cサーバのインストール手順を説明します。  
インストールは次の順番で実施します。

- 1) インストーラの実行
  - 広告EDI UCSのインストール
  - PostgreSQLのインストール
  - SystemManagerのインストール
  - TaskManagerのインストール
- 2) データベースの初期データ登録
- 3) データ移行の実施
- 4) U/Cサーバの起動設定
- 5) アプリケーションの関連付け
- 6) OSの再起動(U/Cサーバの起動)
- 7) CA証明書の適用

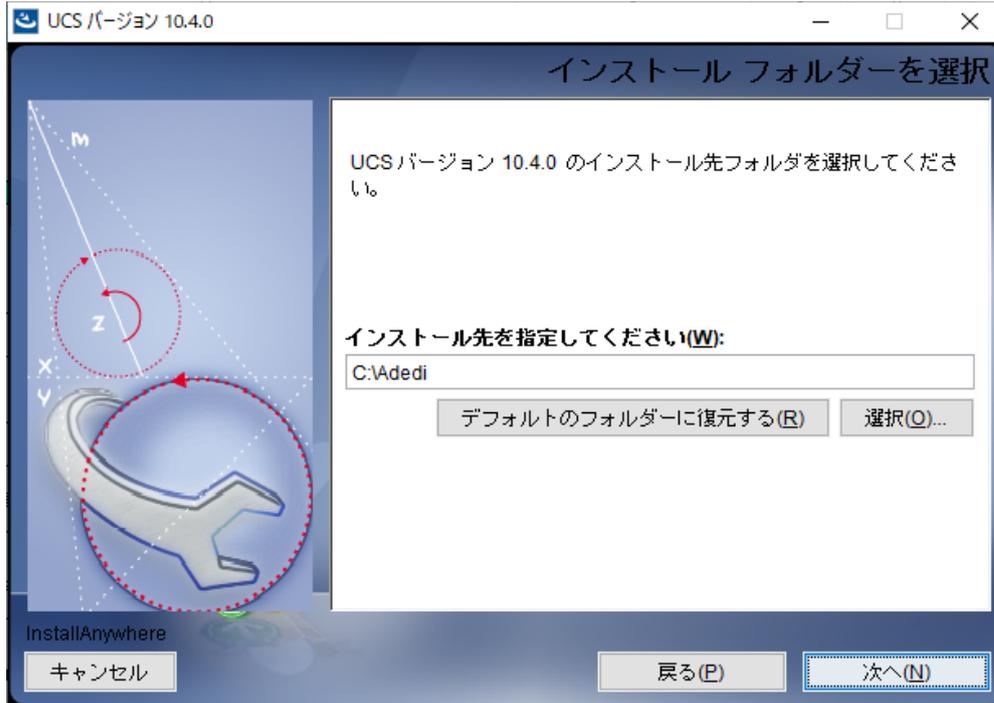
### 2.1. インストール手順

#### 2.1.1. インストーラの実行

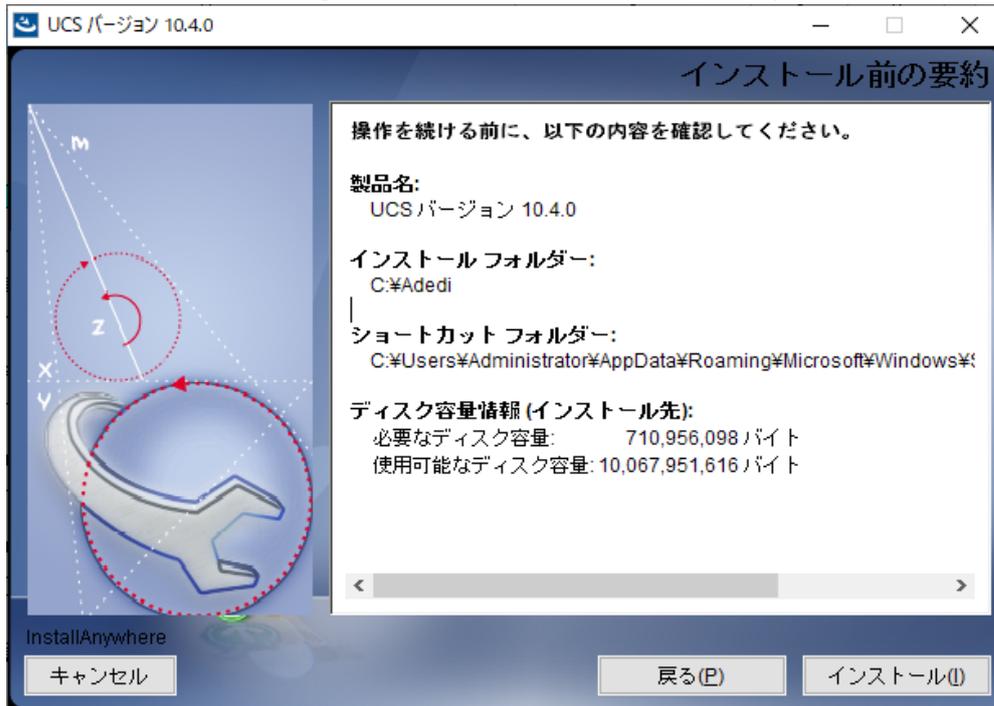
- ◆U/CサーバのインストールディスクをCD-ROMドライブにセットし、その中のインストーラ(setup.exe)を実行します。  
開始画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。



- ◆インストールフォルダの選択画面です。インストール場所を選択し、「次へ」をクリックします。  
※インストール先の初期値は「C:\Adedi」です。



- ◆インストール前の要約画面です。インストールフォルダに問題がないことを確認してください。  
問題なければ、「インストール」ボタンをクリックし、インストールを実行します。



- ◆ 広告EDI UCSのインストール画面です。U/CサーバおよびApache Tomcatをインストールしている画面です。インストールが完了すると、自動的にデータベースインストール開始画面へ進みます。



- ※ 広告EDI UCSのインストールが完了すると、以降の手順で「キャンセル」を選択した場合でも、UCSアプリケーションはアンインストールされません。アンインストールが必要な場合は「4. U/Cサーバのアンインストール」を参照し削除してください。

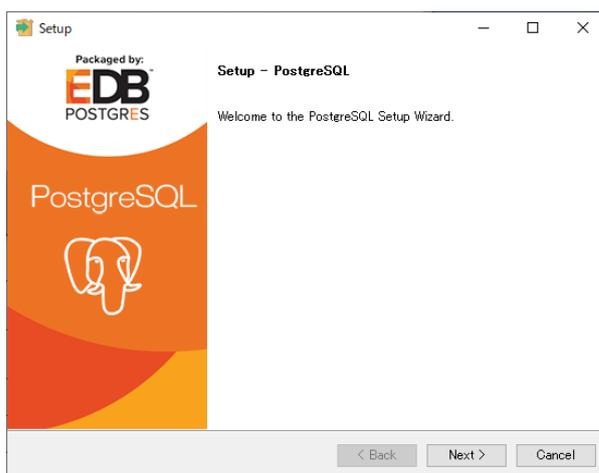
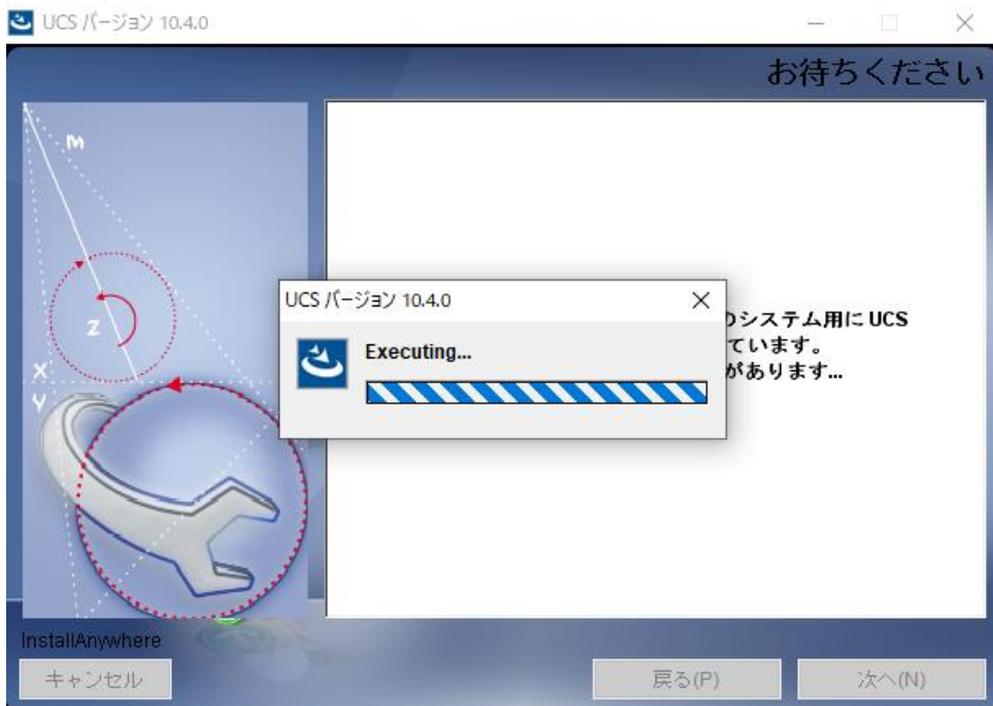
- ◆ データベースインストール開始画面です。「次へ」をクリックします。



◆ PostgreSQLのインストール画面が新規に立ち上がります。

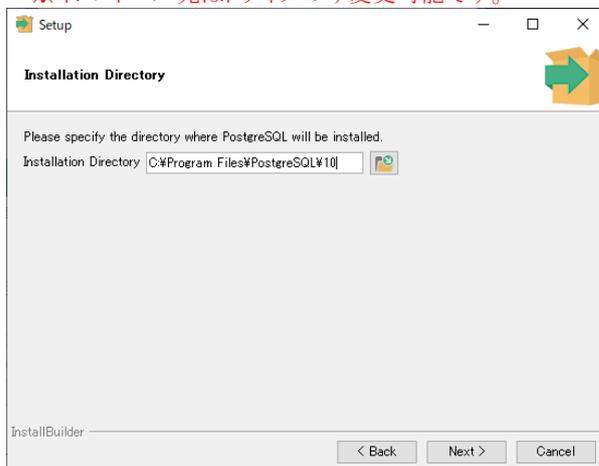
「Next >」をクリックし、PostgreSQLのインストールに進みます。

※ PostgreSQLのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

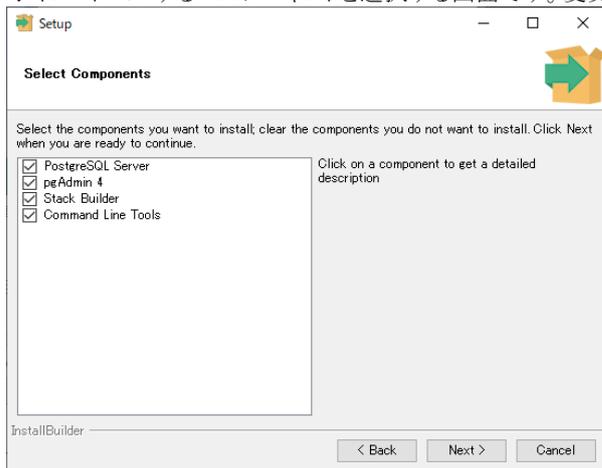


◆ PostgreSQLのインストール先選択画面です。インストール先を選択し「Next >」をクリックします。

※ インストール先はドライブのみ変更可能です。

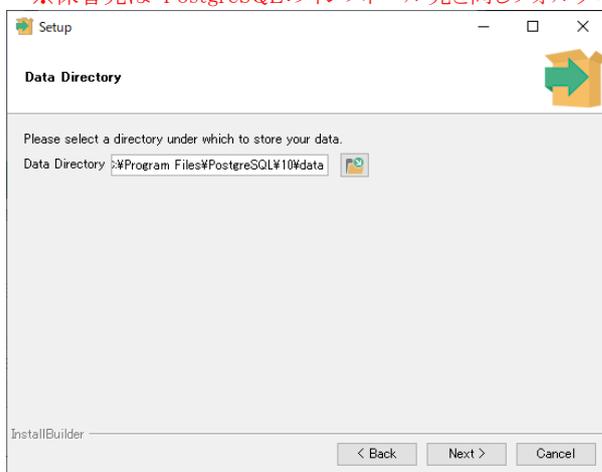


◆インストールするコンポーネントを選択する画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。



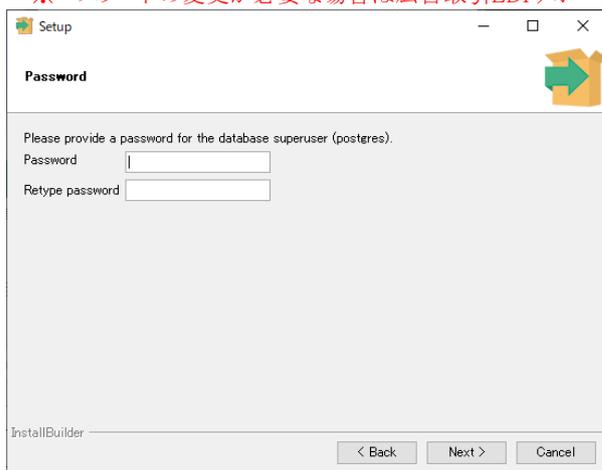
◆データベース情報保管先選択画面です。保管先を選択し「Next >」をクリックします。

※保管先は「PostgreSQLのインストール先と同じフォルダパス¥data」を指定してください。



◆パスワード入力画面です。「postgres」と入力し「Next >」をクリックします。

※パスワードの変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



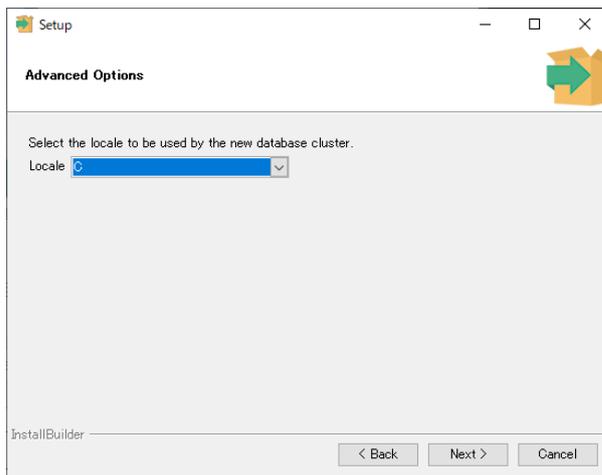
◆ポート番号設定画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。

※ポート番号の変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

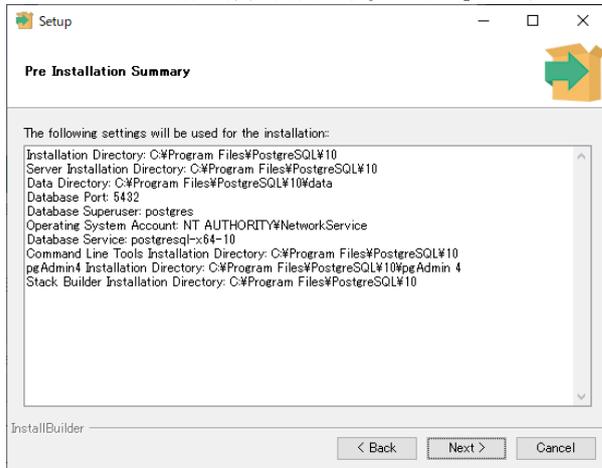
◆設定情報選択画面です。

Localeの設定が初期値では [Default locale] となっているので [C] に変更し「Next >」をクリックします。

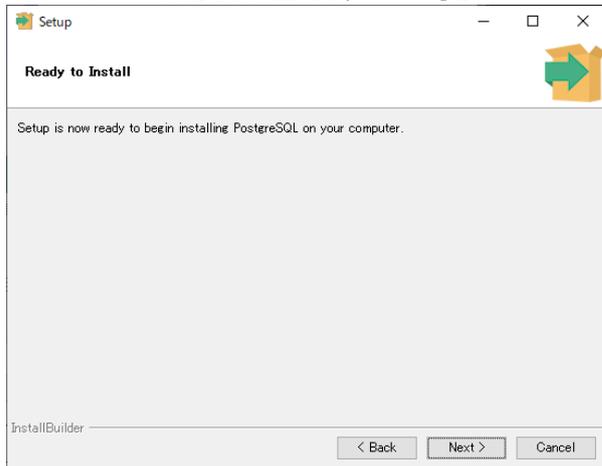
※[C]以外を設定すると正常に動作しません。



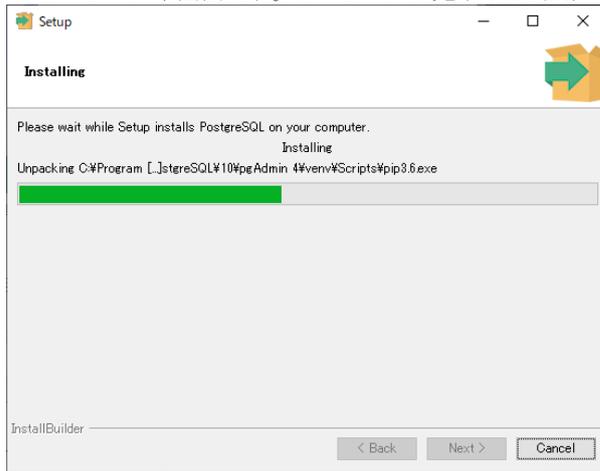
◆インストール内容の確認画面です。「Next >」をクリックします。



◆インストール準備完了画面です。「Next >」をクリックしてインストールを実行します。

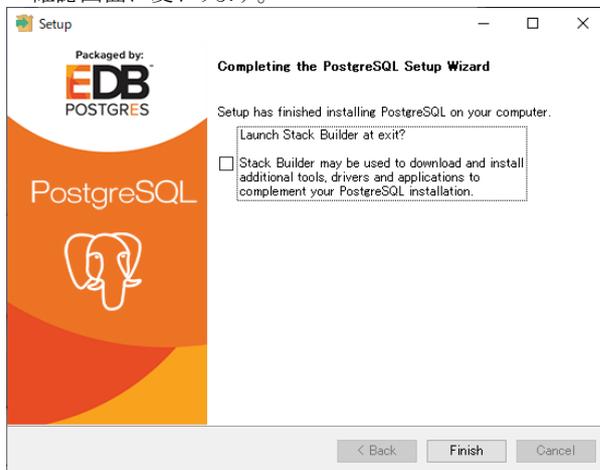


◆インストール中画面です。インストールが完了したら自動で次の画面に変わります。

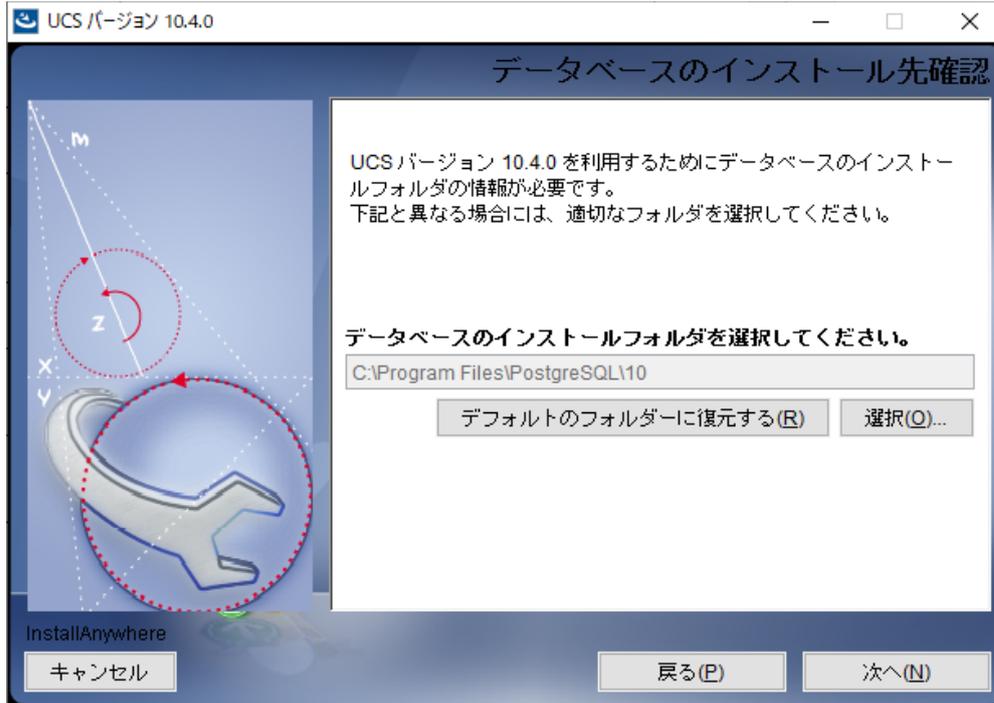


◆インストール完了画面です。チェックボックスのチェックを外し、「Finish」をクリックします。

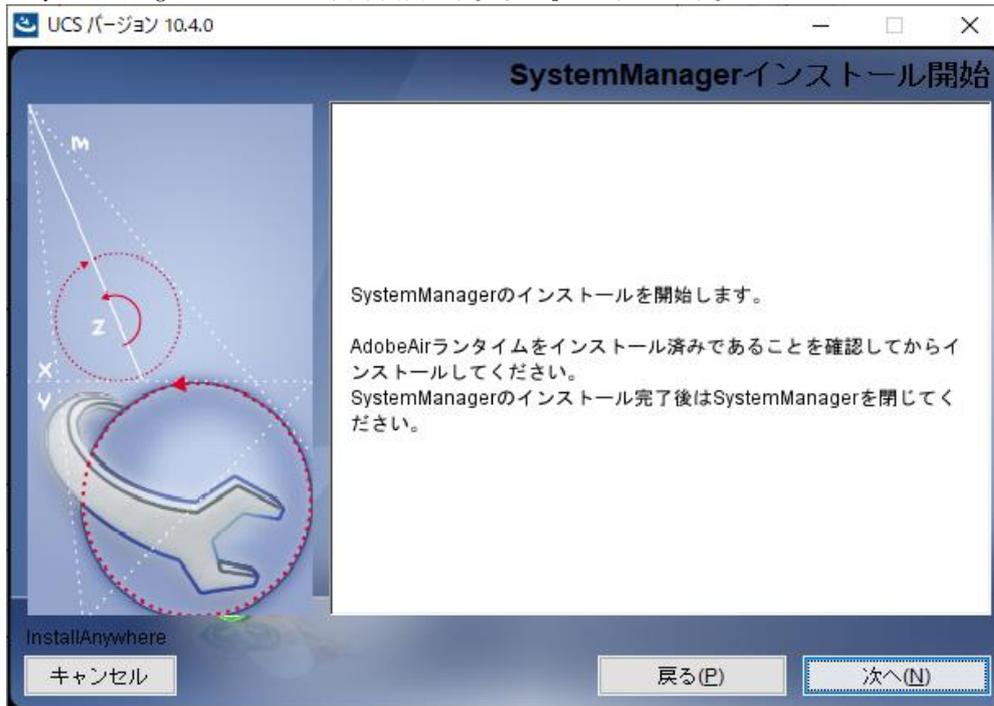
「Finish」をクリックするとPostgreSQLのインストール画面が閉じられ、U/Cインストーラがデータベースのインストール先確認画面に変わります。



- ◆データベースのインストール先確認画面です。PostgreSQLのインストール先を変更した場合には、「選択」からインストール先フォルダを選択し「次へ」をクリックします。

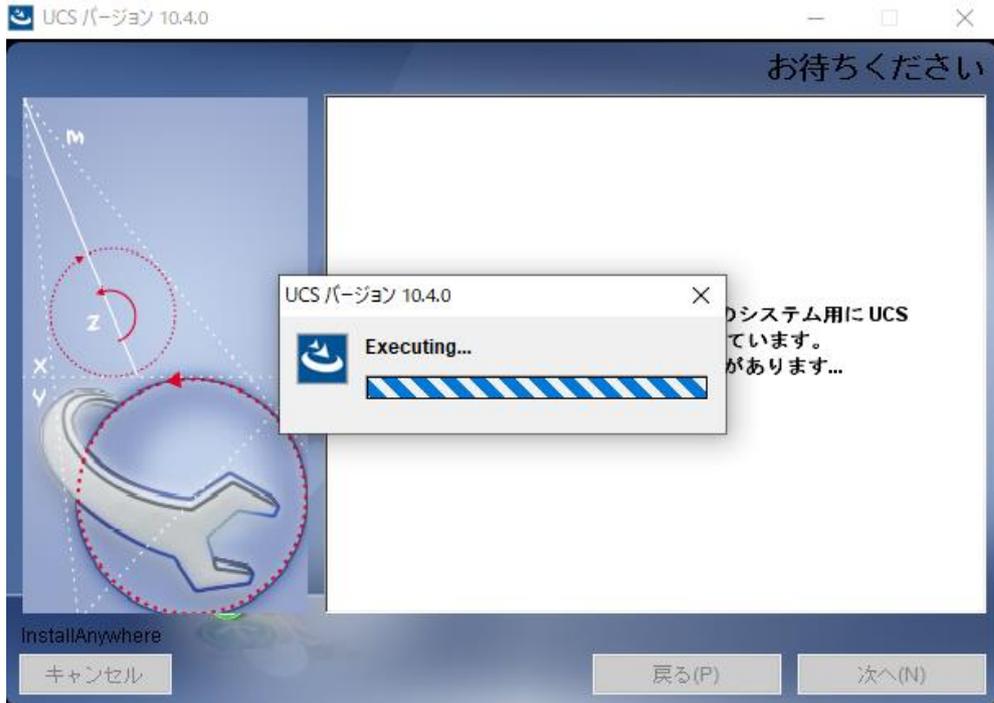


- ◆SystemManagerのインストール開始画面です。「次へ」をクリックします。



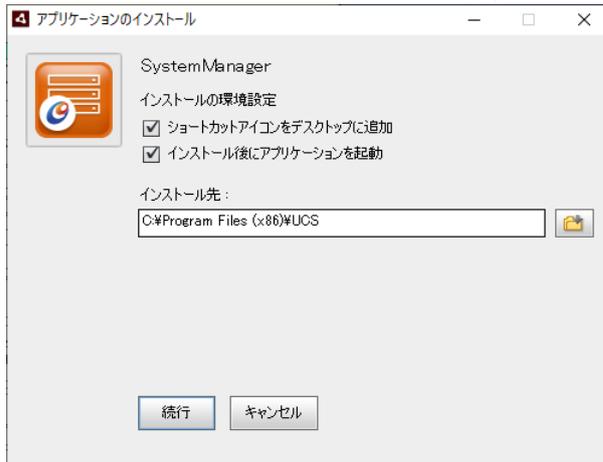
◆SystemManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。

※SystemManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



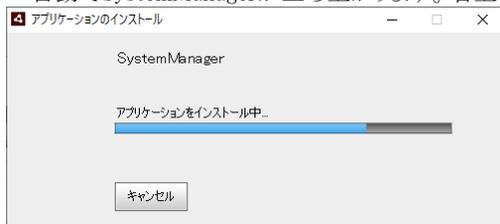
◆SystemManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックしインストールを実行します。

※インストール先はドライブのみ変更可能です。



◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。

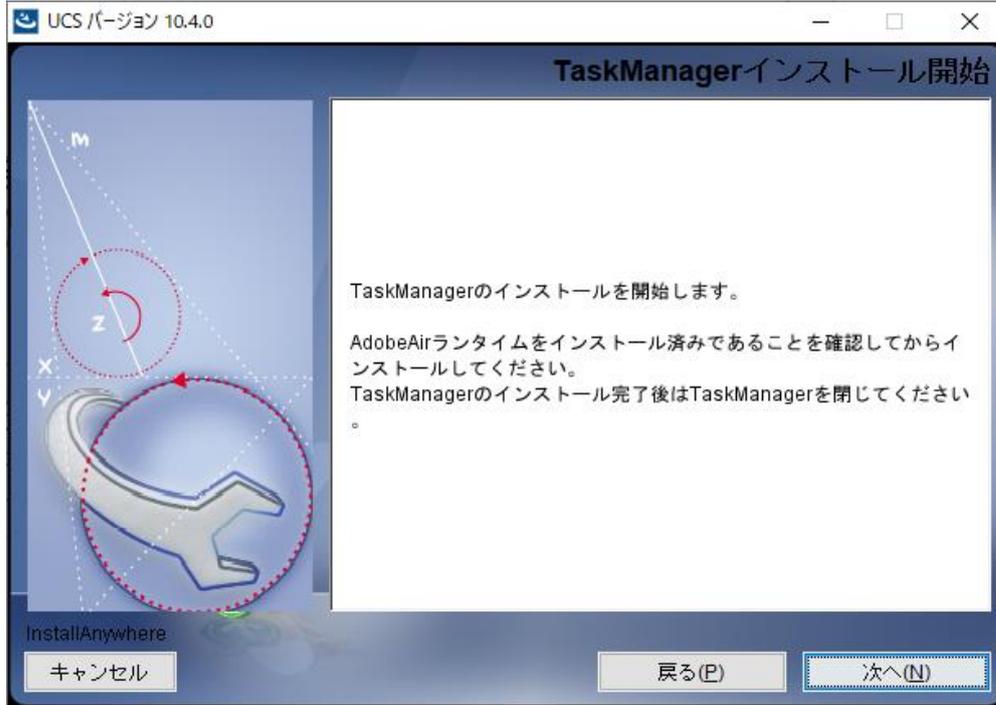
インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でSystemManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからSystemManagerを終了してください。



- ◆完了画面です。「完了」をクリックすると、SystemManagerのインストール画面が閉じられ、U/CインストーラがTaskManagerのインストール開始画面に変わります。なお、インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。

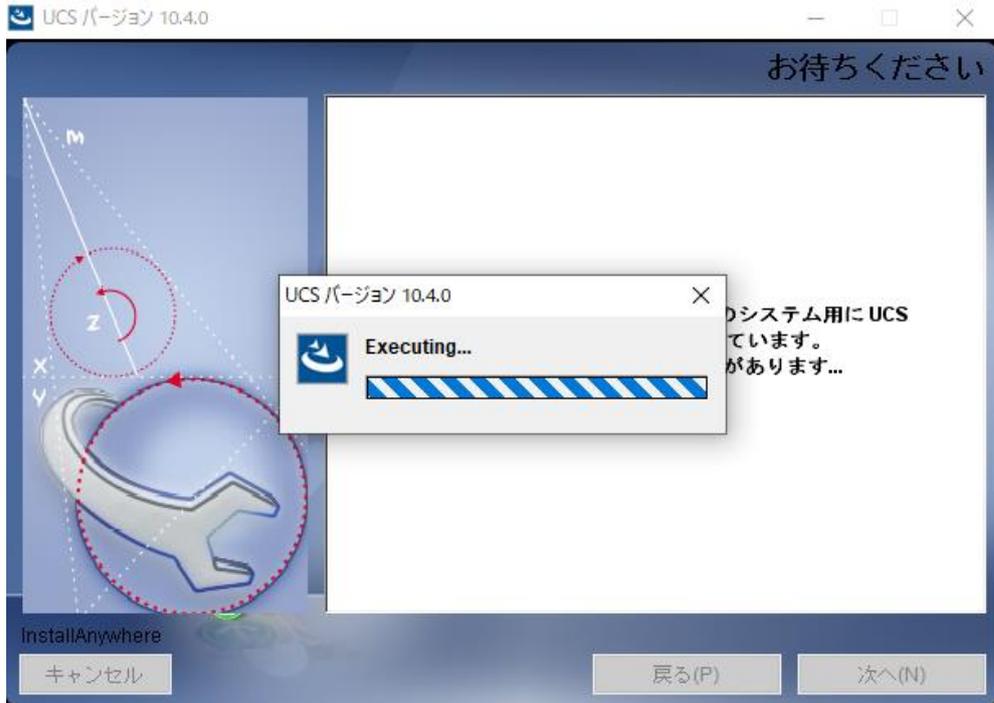


- ◆TaskManagerのインストール開始画面です。「次へ」をクリックします。



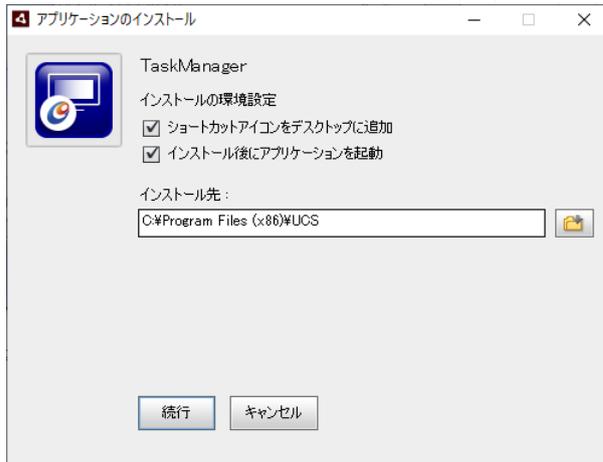
◆TaskManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。

※TaskManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



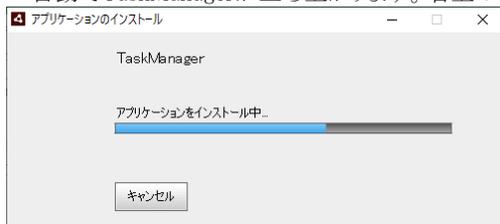
◆TaskManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックし、インストールを実行します。

※インストール先はドライブのみ変更可能です。



◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。

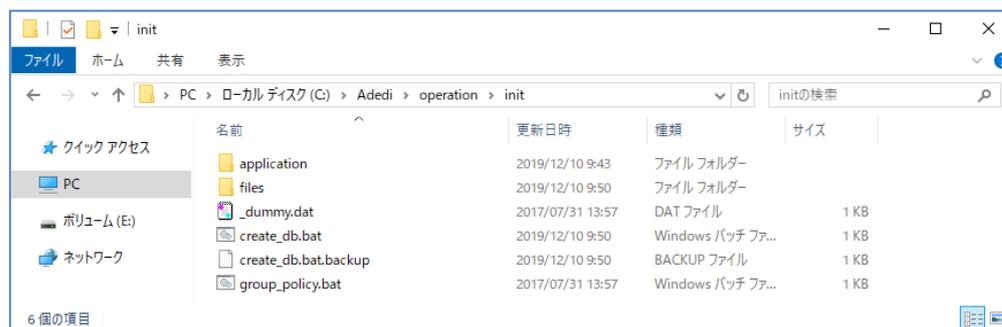
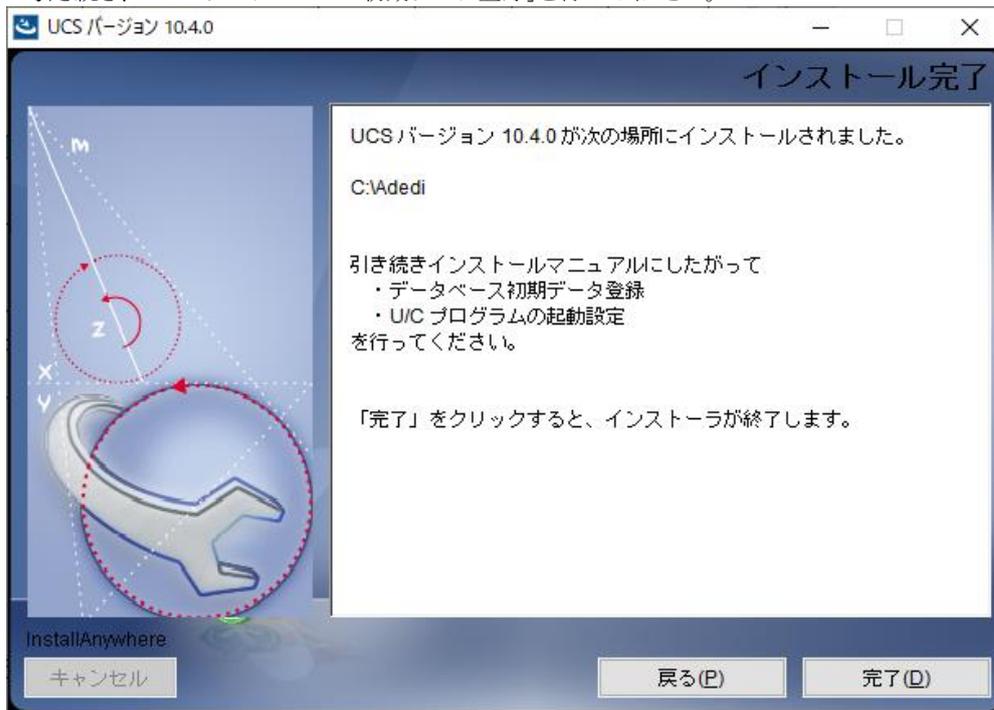
インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でTaskManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからTaskManagerを終了してください。



- ◆完了画面です。「完了」をクリックすると、TaskManagerのインストール画面が閉じられ、U/Cインストーラがインストール完了画面に変わります。なお、インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。



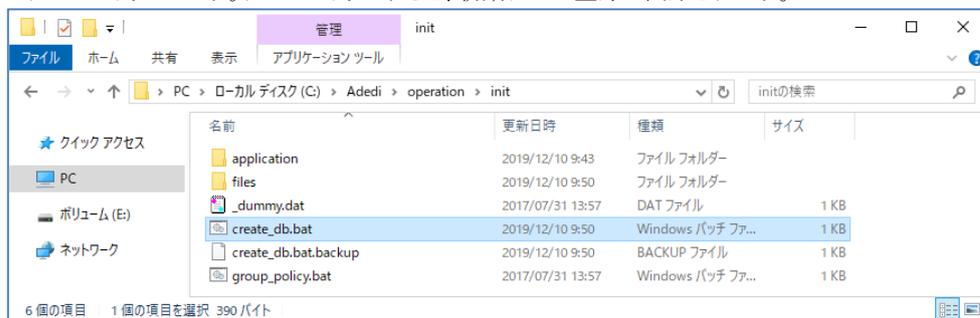
- ◆インストール完了画面です。「完了」をクリックするとインストーラが終了し、以降の手順で使用するファイルが置かれたフォルダが自動で開きます。引き続き、「2.1.2. データベースの初期データ登録」を行ってください。



## 2.1.2. データベースの初期データ登録

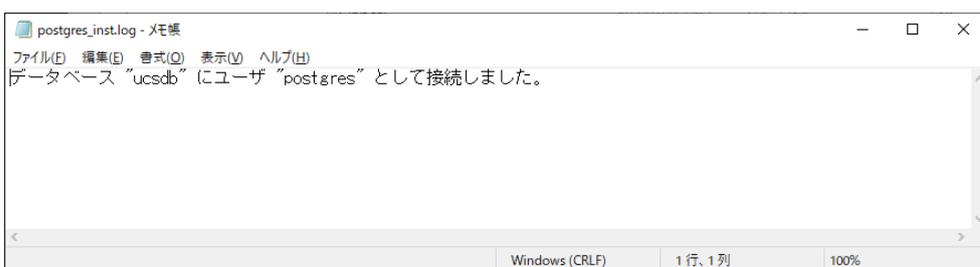
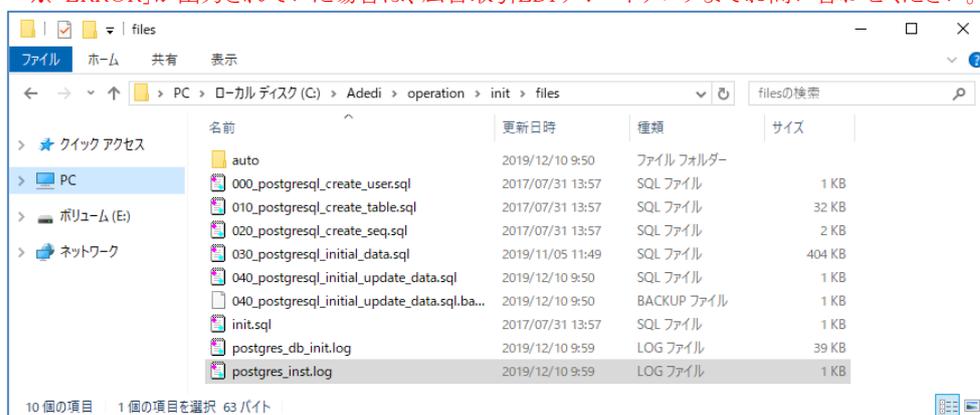
本節では、U/Cサーバが使用するシステム設定値やマスタ情報の初期データをデータベースへ登録します。

- ◆ インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ (U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥) にある「create\_db.bat」をダブルクリックします。ダブルクリックすると、初期データ登録が開始されます。



- ◆ 初期データ登録が完了すると、filesフォルダにログファイル「postgres\_inst.log」が作成されます。ログファイルに「ERROR」という文字列が出力されていないことを確認してください。

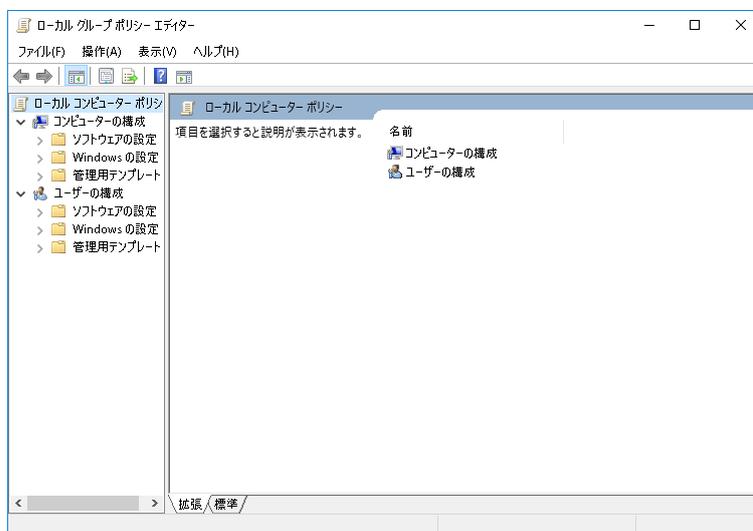
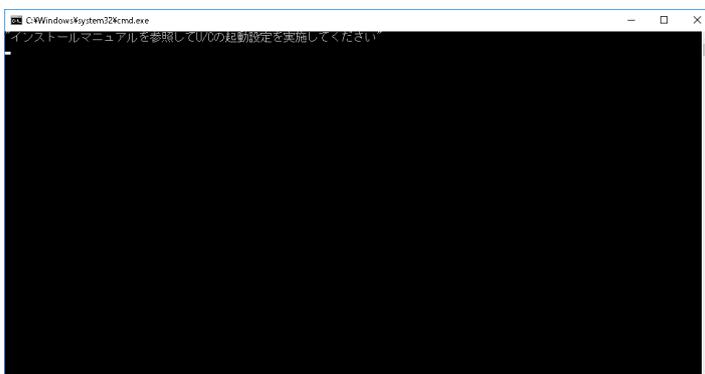
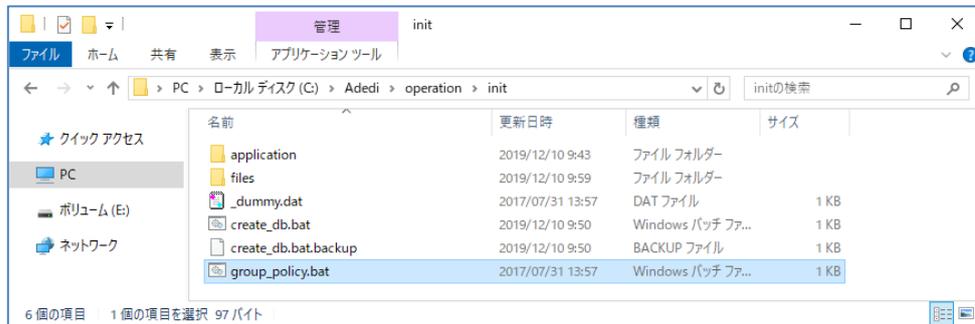
※「ERROR」が出力されていた場合は、広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



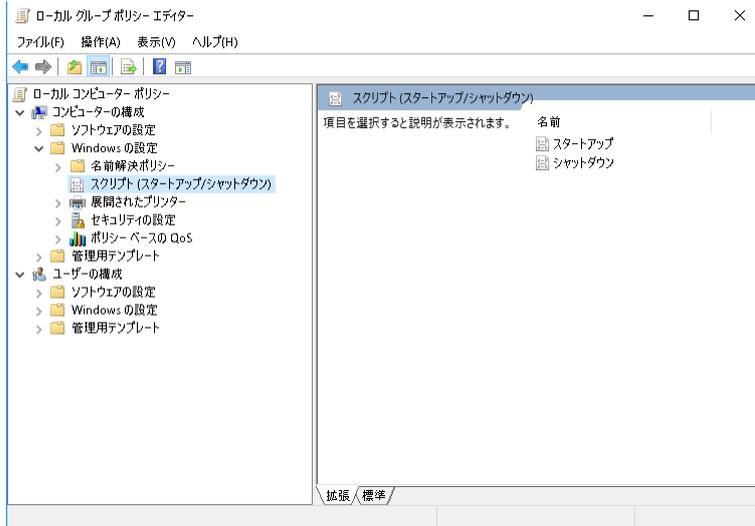
### 2.1.3. U/Cサーバの起動設定

本節では、U/Cサーバの自動起動・自動停止設定を登録します。

◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダにある「group\_policy.bat」をダブルクリックし、ローカルグループポリシーエディタを起動します。グループポリシーエディタの起動にはしばらく時間がかかります。



- ◆ローカルグループポリシーエディタにおいて、  
コンピュータの構成 > Windows の設定 > スクリプト(スタートアップ/シャットダウン)を開きます。



- ◆スタートアップをダブルクリックしてプロパティ画面を開き、「追加」ボタンから[表 2-1 スタートアップ登録内容]を登録します。同様に、シャットダウンから[表 2-2 シャットダウン登録内容]を登録します。

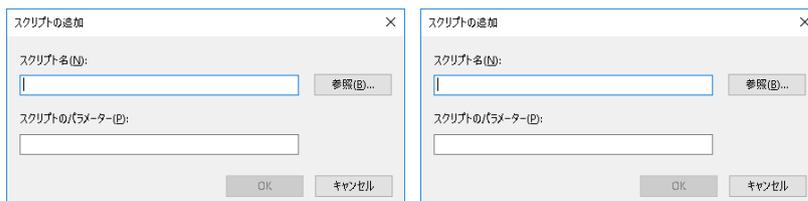
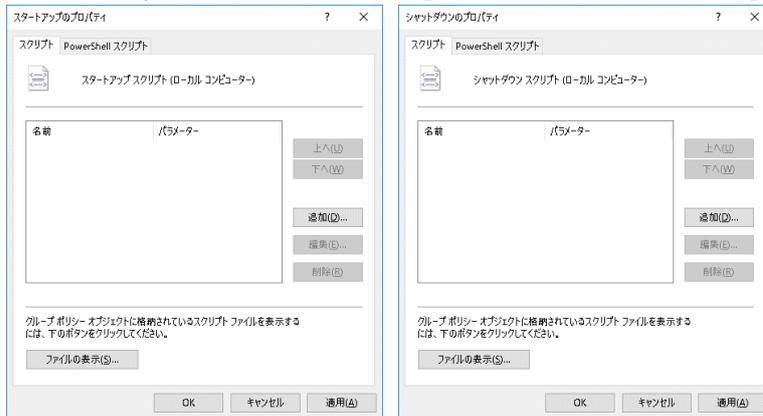


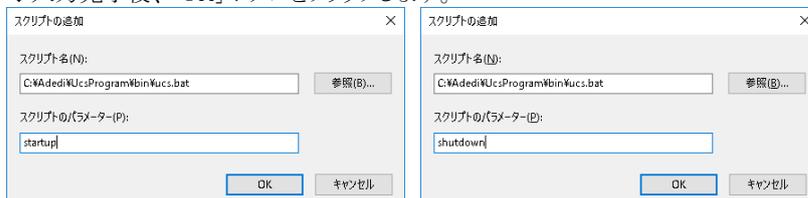
表 2-1 スタートアップ登録内容

名前	パラメータ
(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat	startup

表 2-2 シャットダウン登録内容

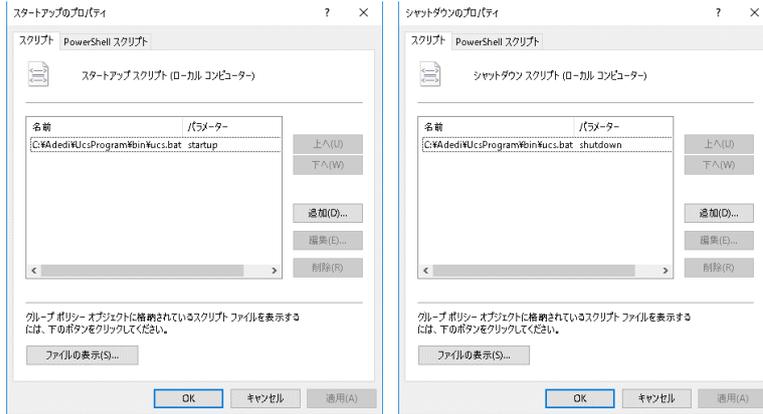
名前	パラメータ
(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat	shutdown

- ◆入力完了後、「OK」ボタンをクリックします。



◆追加されたことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

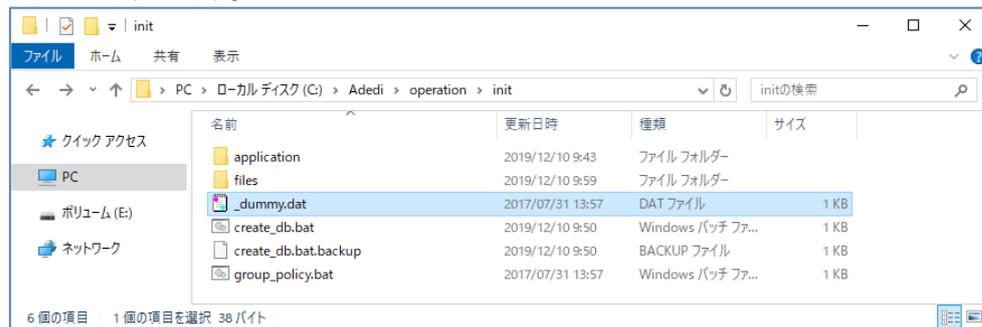
グループポリシーエディタに戻り、右上の「×」によりグループポリシーエディタを終了します。



## 2.1.4. アプリケーションの関連付け

U/CサーバではTaskManagerよりDATファイルを開くのにワードパットを利用します。そのため、本手順によって拡張子の関連付けを行います。

◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ (U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥)にあるファイル「\_dummy.dat」をダブルクリックします。



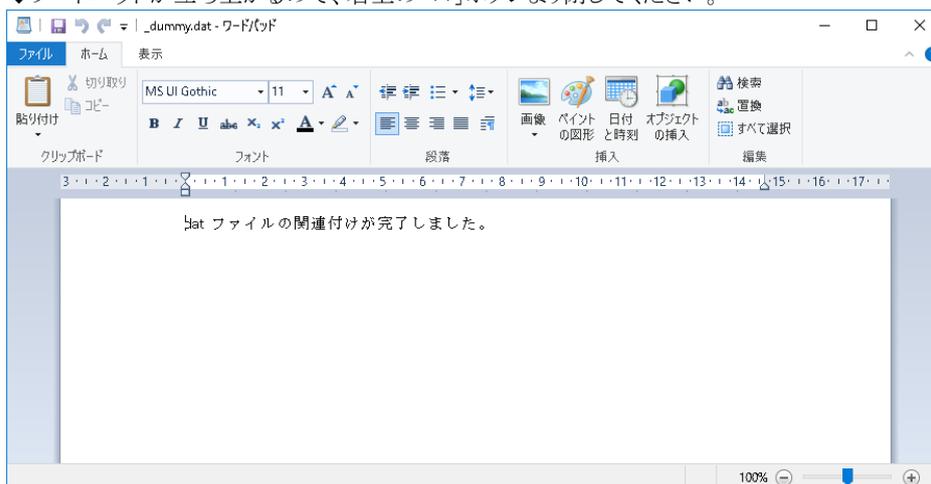
◆「このPCのアプリで開く」をクリックします。



- ◆ファイルを開くプログラムの選択画面が表示されるので、「ワードパッド」を選択します。  
「常にこのアプリを使って.datファイルを開く」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。  
※ 「ワードパッド」以外にも、テキストファイルが取り扱い可能な任意のエディタをご利用できます。



- ◆ワードパッドが立ち上がるので、右上の「×」ボタンより閉じてください。



## 2.1.5. OSの再起動(U/Cサーバの起動)

これまでの手順を実行後、OSの再起動を実施してください。OS再起動後、U/Cサーバが起動し利用可能となります。

## 2.1.6. CA証明書の適用

U/Cサーバでは、広告取引EDIシステムとの通信時のセキュリティを高めるため、TLS接続によるサーバ認証を行っています。広告取引EDIシステムへ接続するためには、U/Cサーバに最新のCA証明書を適用頂く必要があります。別紙「UCサーバ 証明書更新手順」を参照し、最新のCA証明書を適用してください。

## 2.2. その他設定手順

本節では、任意の設定手順を説明します。必要に応じて、各種設定を行ってください。

### 2.2.1. ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール)

U/Cサーバでは以下の通信ポートを使用します。Windowsファイアウォール等でポートの制限を行っている場合にはポートの使用を許可してください。Windowsファイアウォールにおけるポートの使用許可設定は、「付録A. Windowsファイアウォール設定手順」を参照してください。

表 2-3 U/C サーバで使用する通信ポート

ポート番号	用途
443	U/Cサーバより広告取引EDIシステムへインターネット接続(TLS通信)でデータを送受信する際に使用します。(※本ポートのみ外部への接続に利用します)
8080	クライアント画面よりU/Cサーバへの接続に使用します。
8005	Apache Tomcatを停止する際に使用します。
5432	PostgreSQLで使用します。
4561	U/Cサーバからログを出力するために使用します。
6520	UCControllerを停止する際に使用します。
6521	ScheduleControllerで使用します。

### 2.2.2. SystemManager、TaskManagerの別端末へのインストール

U/Cサーバをインストールした端末以外から、SystemManager、およびTaskManagerを通して、スケジュール登録やデータ送受信の状況確認などを実施頂くことが可能です。別端末から操作を行いたい場合、以下の手順に沿ってSystemManager、およびTaskManagerのインストールを実施してください。

- ※ 本手順はU/Cサーバのインストール後に実施してください。
- ※ 別端末から操作を行う必要がないお客様は、本手順の実施は不要です。

- 1) はじめに、別端末にAdobe AIR ランタイムをインストールしてください。
  - Adobe AIR ランタイム (<https://airsdk.harman.com/runtime/>にて無料配布)  
上記URLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。
- 2) U/Cサーバをインストールした端末から、SystemManager、およびTaskManagerのインストーラを以下のファイルパスから取得し、別端末にコピーしてください。コピーする場所は任意です。
  - SystemManager  
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
  - TaskManager  
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe
- 3) 別端末にコピーしたSystemManagerおよびTaskManagerのインストーラをそれぞれダブルクリックで実行します。画面に従ってインストールを実施してください。
- 4) インストール完了後、SystemManagerおよびTaskManagerの接続先を設定してください。  
「U/Cサーバ10.4.0 オペレーションマニュアル」の『3.2. システムマネージャの接続先設定』を参照して、接続先を設定します。ここで「接続先ホスト」には以下内容を指定してください。

U/CサーバをインストールしたマシンのIPアドレス:8080
--------------------------------

## 3. U/Cサーバのバージョンアップ

---

本節ではU/Cサーバのバージョンアップ手順を説明します。  
バージョンアップは次の順番で実施します。

- 1) U/Cサーバの停止
- 2) SystemManager、TaskManagerのアンインストール
- 3) インストーラの実行
  - 現行モジュールのバックアップ取得
  - 新規モジュールへの更新
  - データベース定義の更新
  - SystemManagerのインストール
  - TaskManagerのインストール
  - PostgreSQLのインストール<sup>1</sup>
- 4) 不要フォルダの削除
- 5) U/Cサーバの起動

### 3.1. 注意事項

バージョンアップ実施に際して、以下の条件を満たしていることを確認してください。全ての条件を満たさない場合は、以降のバージョンアップ手順は実施出来兼ねます。条件を満たすことができない場合は、一度U/Cサーバをアンインストールし、再度インストールすることでバージョンアップを実施してください。

- U/Cサーバ バージョン 10.0.0 以降のバージョンをインストールしている端末でバージョンアップを行うこと
  - 現在のU/Cインストールフォルダを変更しないこと
  - (U/Cインストールフォルダ)¥operationフォルダにアクセス権限があること
  - Adobe AIR ランタイムのバージョンが最新になっていること
- ※ 「1.2.2.ソフトウェア」に記載のURLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。

なお、バージョンアップ実施に際して、以下の内容が削除されることはありません。

- SystemManager、およびTaskManagerから登録した設定（ユーザ設定や送受信スケジュール等）
- (U/Cインストールフォルダ)¥ユーザフォルダ配下（送受信データ含む）

※ 以降の手順へ進む前に、必ずU/Cサーバのバックアップを取得してください。バックアップ取得手順は「UCサーバ 10.4.0 オペレーションマニュアル」の『7.1.バックアップ』を参照してください。

---

<sup>1</sup> PostgreSQLのインストールはU/C10.2.0以前からバージョンアップされる場合のみ実施されます。U/C10.3.0からバージョンアップされる場合は実施されません。

## 3.2. バージョンアップ手順

### 3.2.1. U/Cサーバの停止

はじめに、U/Cサーバを停止します。停止するサービス・プロセスは以下の通りです。

- サービス UcsLog、UIServer
- プロセス UCController、ScheduleController

※ PostgreSQLサービスは停止不要です。

停止手順は「UCサーバ10.4.0オペレーションマニュアル」の『10.2.U/Cサーバの手動停止』を参照してください。

※ U/Cサーバが停止していない場合、バージョンアップを正常に実施することができません。インストーラを実行する前に、必ずU/Cサーバを停止してください。

U/Cサーバ停止後は以下の内容をご確認ください。

- U/Cインストールフォルダ配下のフォルダやファイルへ常時アクセスするアプリケーションが稼働している場合には、該当のアプリケーションを停止していること(例:ウイルス対策ソフトでのウイルス検索処理など)
- U/Cインストールフォルダ配下のフォルダやファイルをエクスプローラ等で開いていないこと
- U/Cサーバ停止時に立ち上げたコマンドプロンプト画面を閉じていること

### 3.2.2. SystemManager、TaskManagerのアンインストール

次に、SystemManager、TaskManagerをアンインストールします。

U/Cサーバのバージョンアップにあたって、SystemManager、TaskManagerを事前にアンインストールする必要があります。ただし、アンインストールによって、接続先設定(ログイン設定)が削除されることはございません。また、バージョンアップ後、接続先設定(ログイン設定)の登録内容は引き継がれますので、再設定作業は不要です。

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、SystemManagerのアンインストールを実施します。

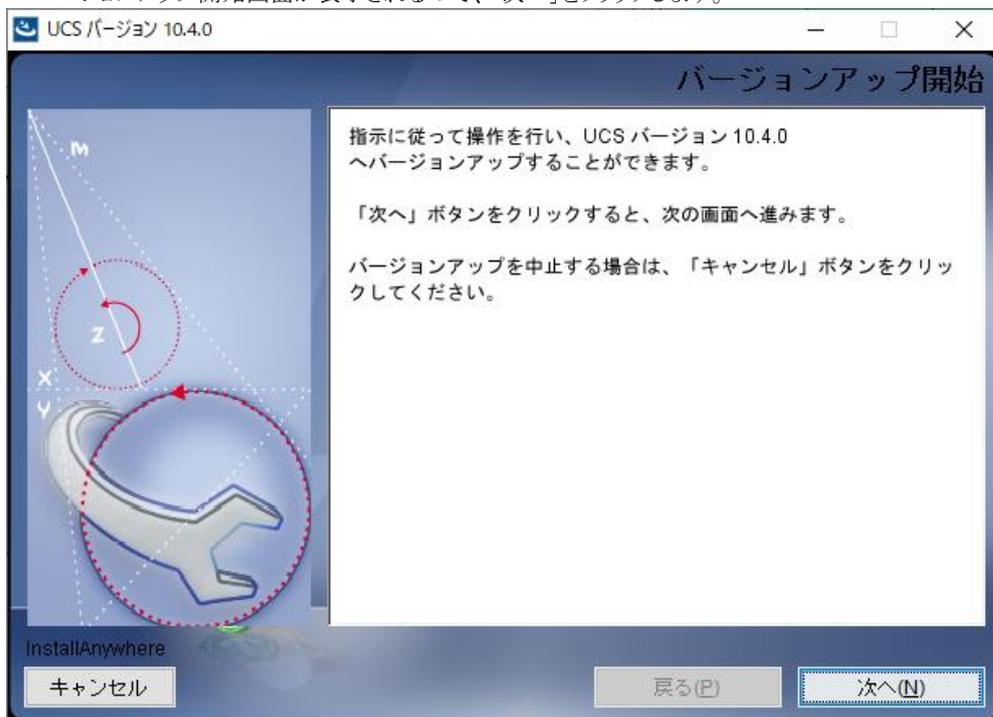


◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、TaskManagerのアンインストールを実施します。



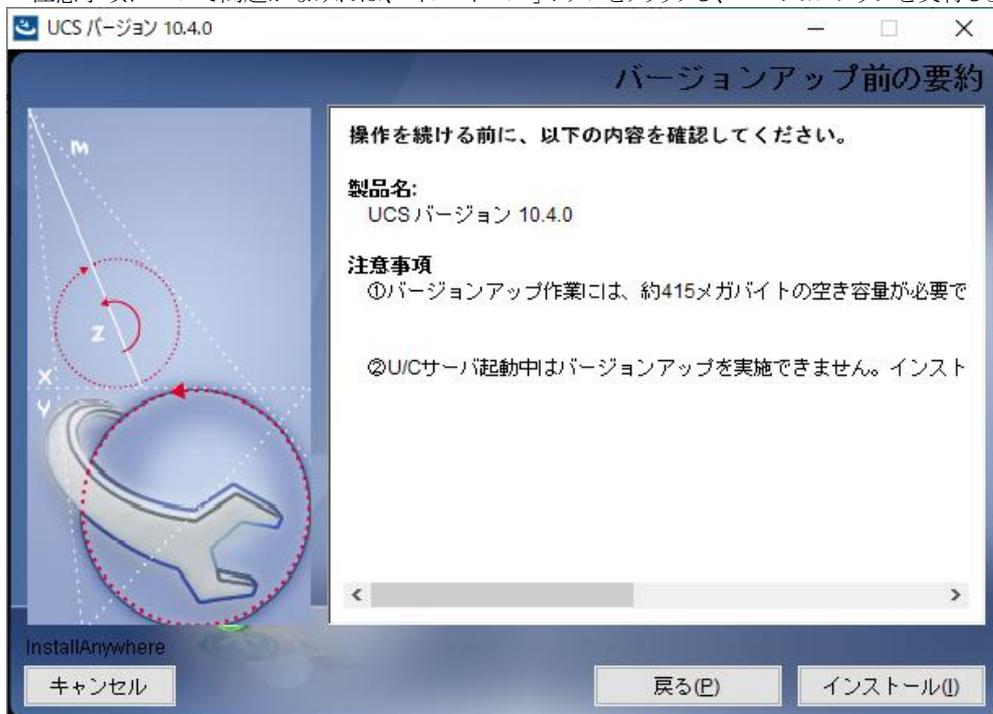
### 3.2.3. インストーラの実行

- ◆U/CサーバのインストールディスクをCD-ROMドライブにセットし、その中のインストーラ(setup.exe)を実行します。バージョンアップ開始画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。



- ◆バージョンアップ前の要約画面です。

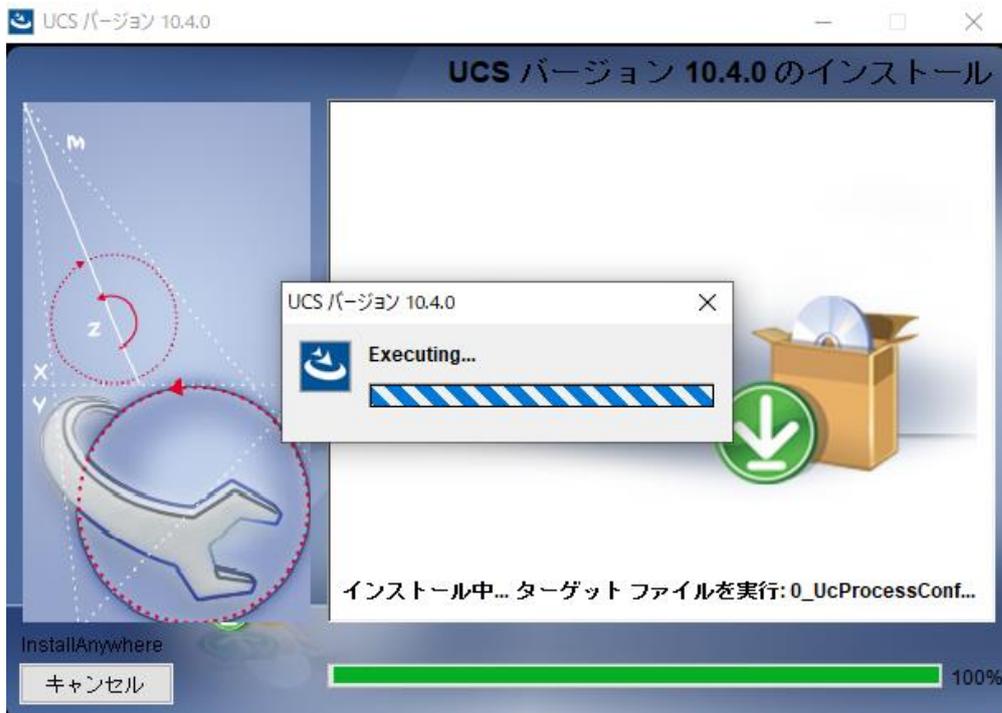
注意事項について問題がなければ、「インストール」ボタンをクリックし、バージョンアップを実行します。



- ◆ 広告EDI UCSのインストール画面です。現行モジュールやデータベースのバックアップ取得、新規モジュールの更新、データベース定義の更新が自動的に行われます。  
処理が完了するとSystemManagerのインストールへ進みます。

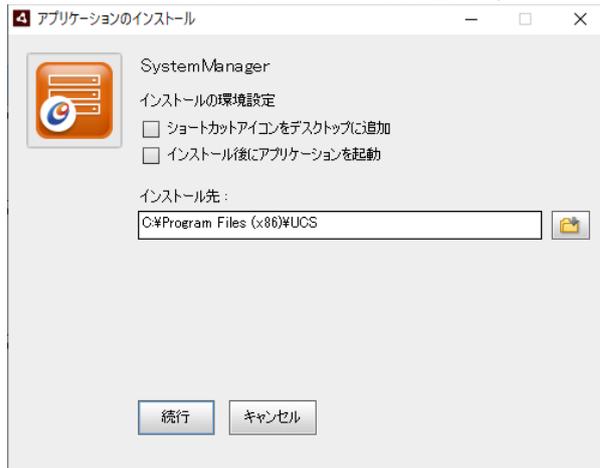


- ◆ SystemManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。  
※SystemManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



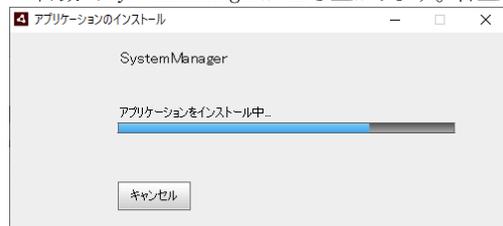
◆SystemManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックしインストールを実行します。

※インストール先はドライブのみ変更可能です。



◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。

インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でSystemManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからSystemManagerを終了してください。

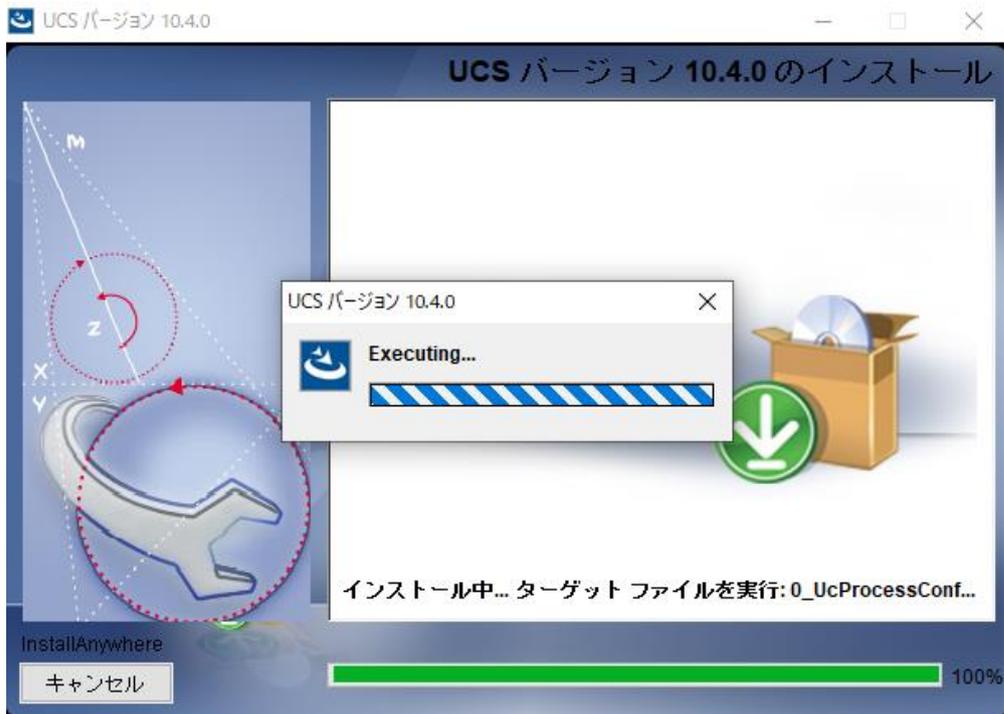


◆完了画面です。「完了」をクリックすると、SystemManagerのインストール画面が閉じられ、TaskManagerのインストールへ進みます。なお、インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。



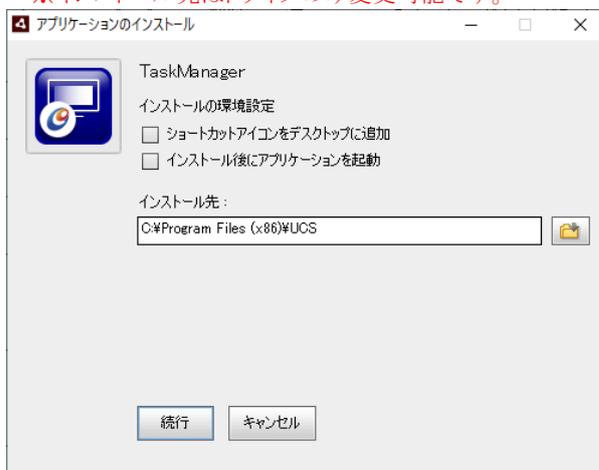
◆TaskManagerのインストール画面が新規に立ち上がります。

TaskManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



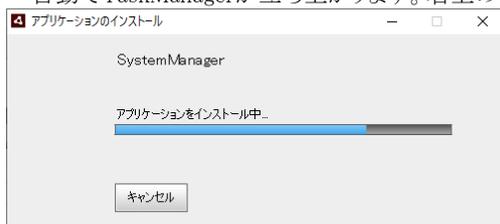
◆TaskManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックし、インストールを実行します。

※インストール先はドライブのみ変更可能です。



◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。

インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でTaskManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからTaskManagerを終了してください。

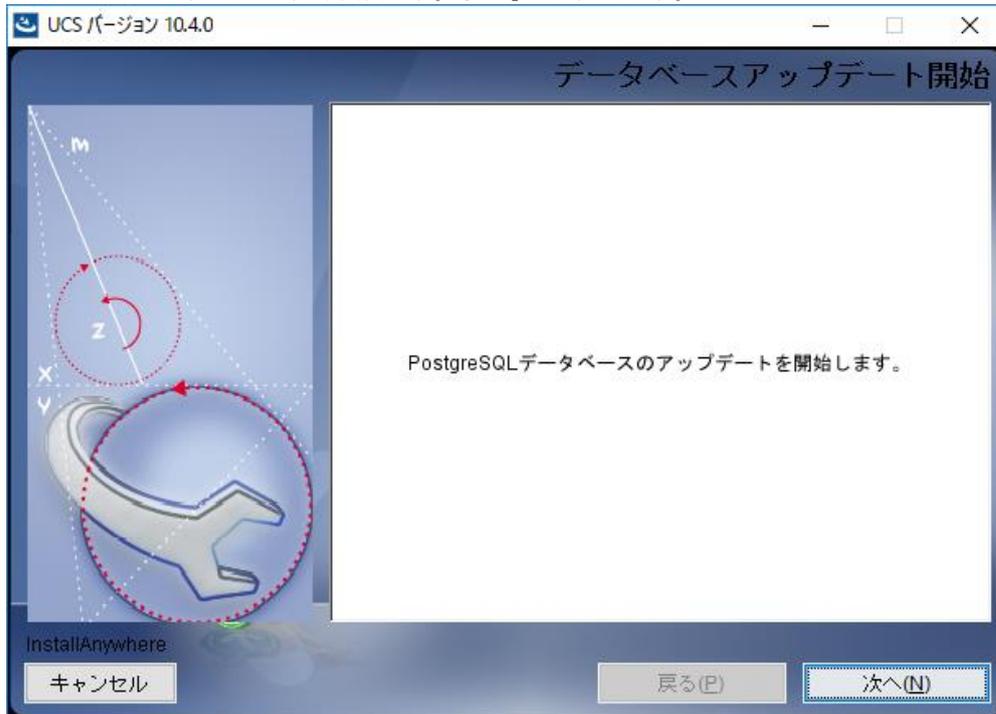


- ◆完了画面です。「完了」をクリックすると、TaskManagerのインストール画面が閉じられます。  
U/C10.2.0以前からバージョンアップされる場合は、U/Cインストーラはデータベースアップデート開始画面が表示され、U/C10.3.0からバージョンアップされる場合は、バージョンアップ完了画面が表示されます。  
なお、インストール設定画面で「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。

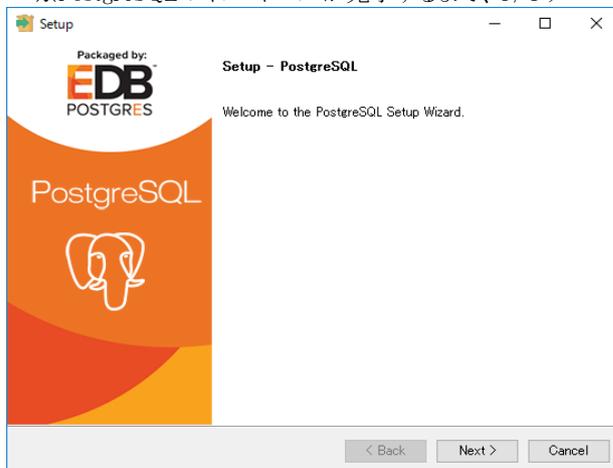


※U/C10.2.0以前からバージョンアップする場合のみ

- ◆データベースアップデート開始画面です。「次へ」をクリックします。

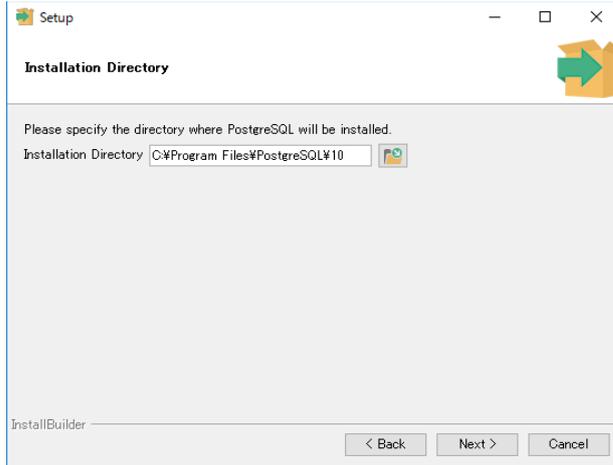


- ◆PostgreSQLのインストール画面が新規に立ち上がります。  
「Next>」をクリックし、PostgreSQLのアップデートに進みます。  
※PostgreSQLのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行なえません。

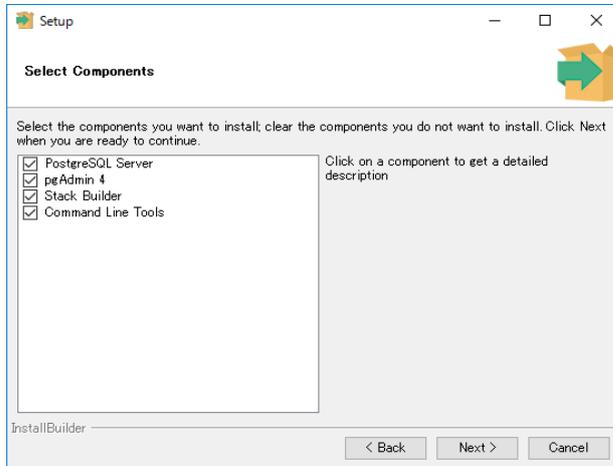


◆ PostgreSQLのインストール先選択画面です。インストール先を選択し「Next >」をクリックします。

※インストール先はドライブのみ変更可能です。

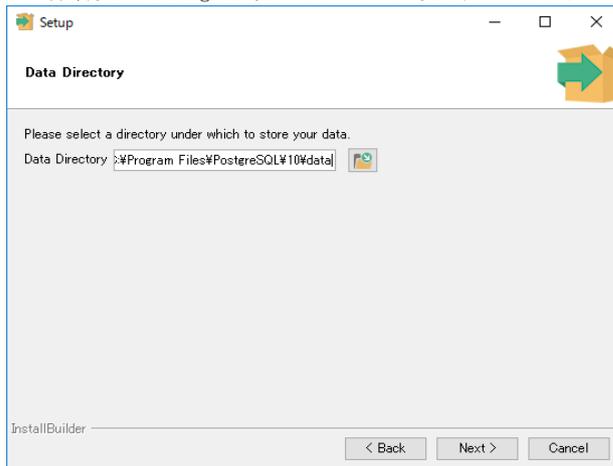


◆ インストールするコンポーネントを選択する画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。



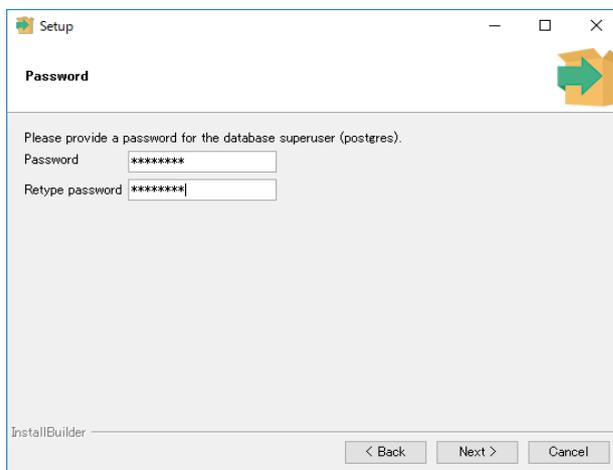
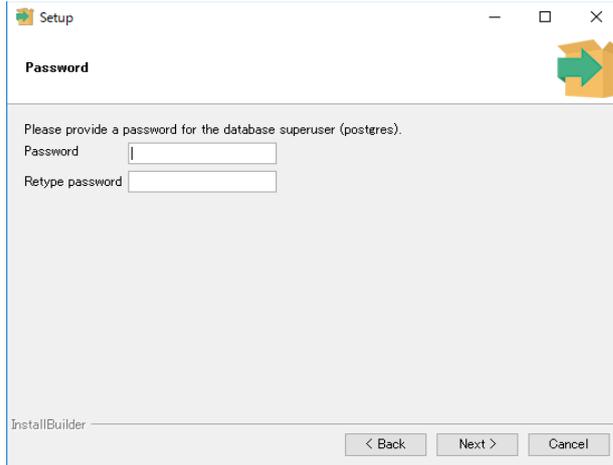
◆ データベース情報保管先選択画面です。保管先を選択し「Next >」をクリックします。

※保管先は「PostgreSQLのインストール先と同じフォルダパス\data」を指定してください。



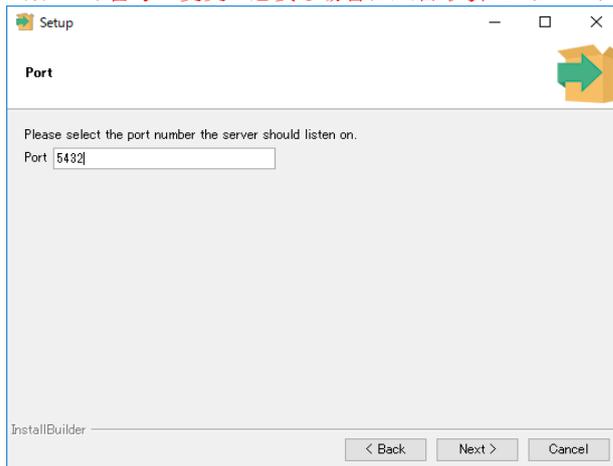
◆パスワード入力画面です。「postgres」と入力し「Next >」をクリックします。

※パスワードの変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



◆ポート番号設定画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。

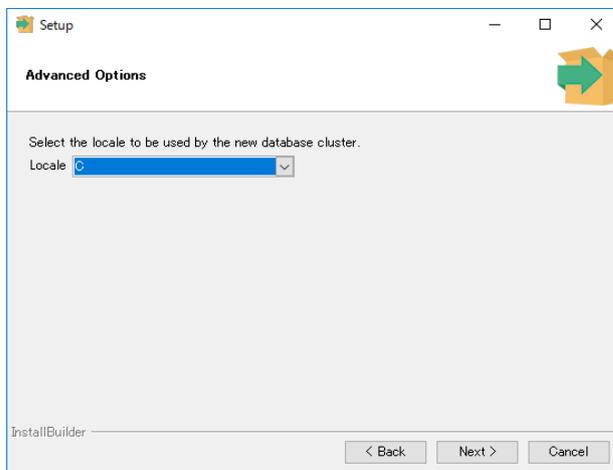
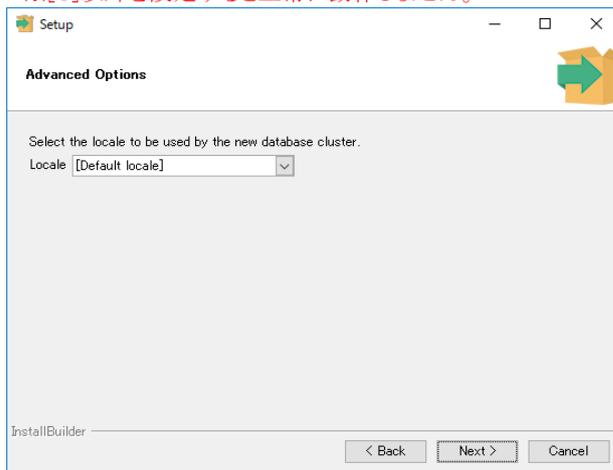
※ポート番号の変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



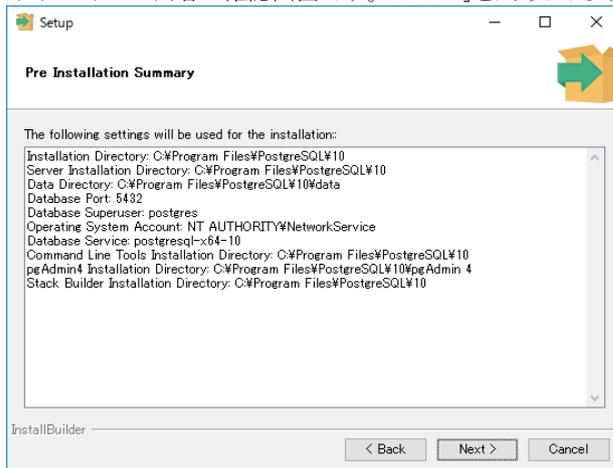
◆設定情報選択画面です。

Localeの設定が初期値では [Default locale] となっているので [C] に変更し「Next >」をクリックします。

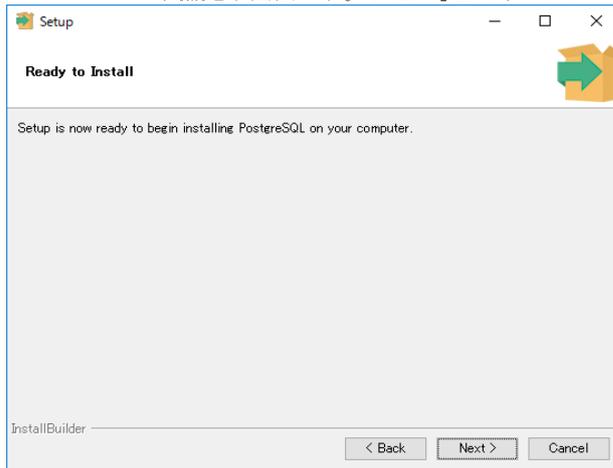
※[C]以外を設定すると正常に動作しません。



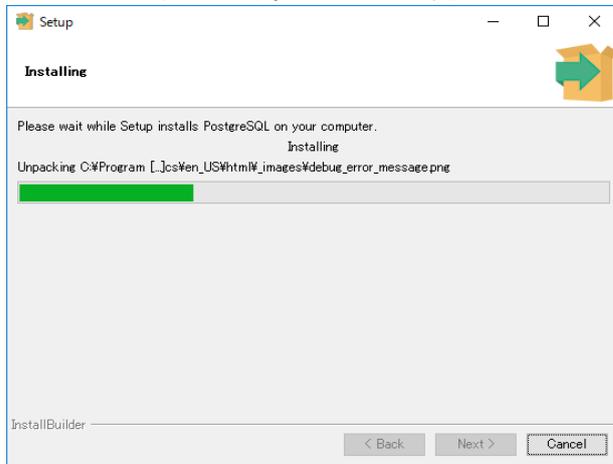
◆インストール内容の確認画面です。「Next >」をクリックします。



◆インストール準備完了画面です。「Next >」をクリックしてインストールを実行します。

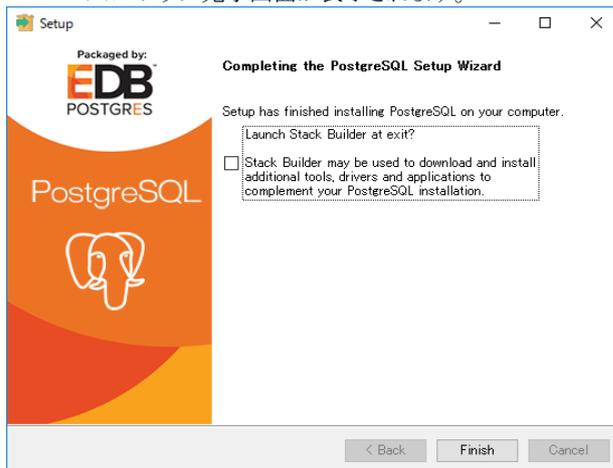


◆インストール中画面です。インストールが完了したら自動で次の画面に変わります。

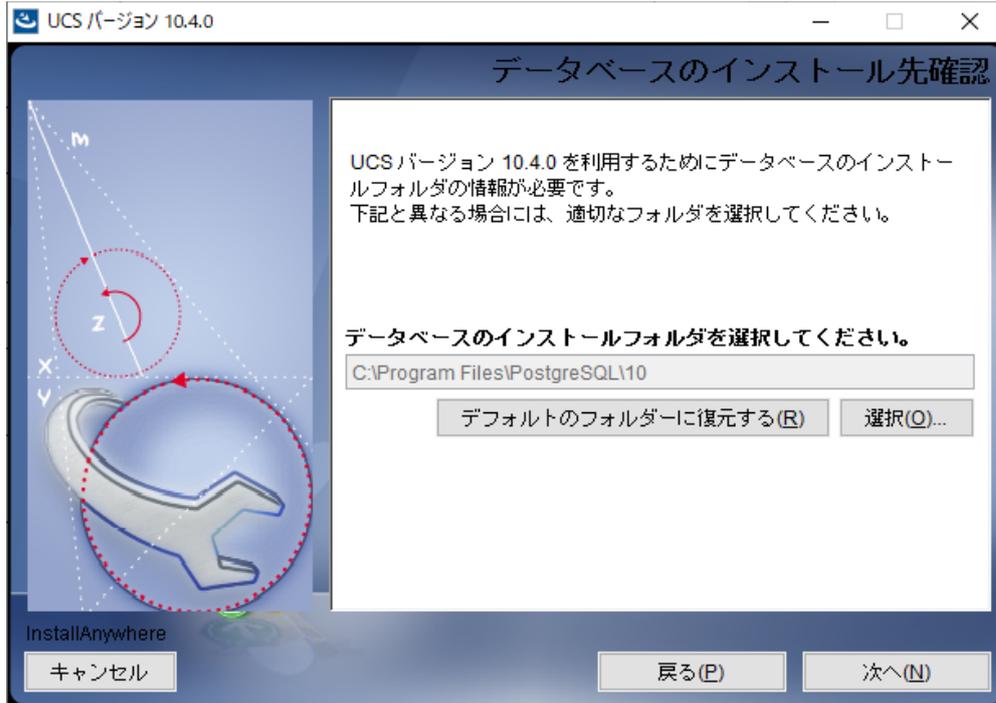


◆インストール完了画面です。チェックボックスのチェックを外し、「Finish」をクリックします。

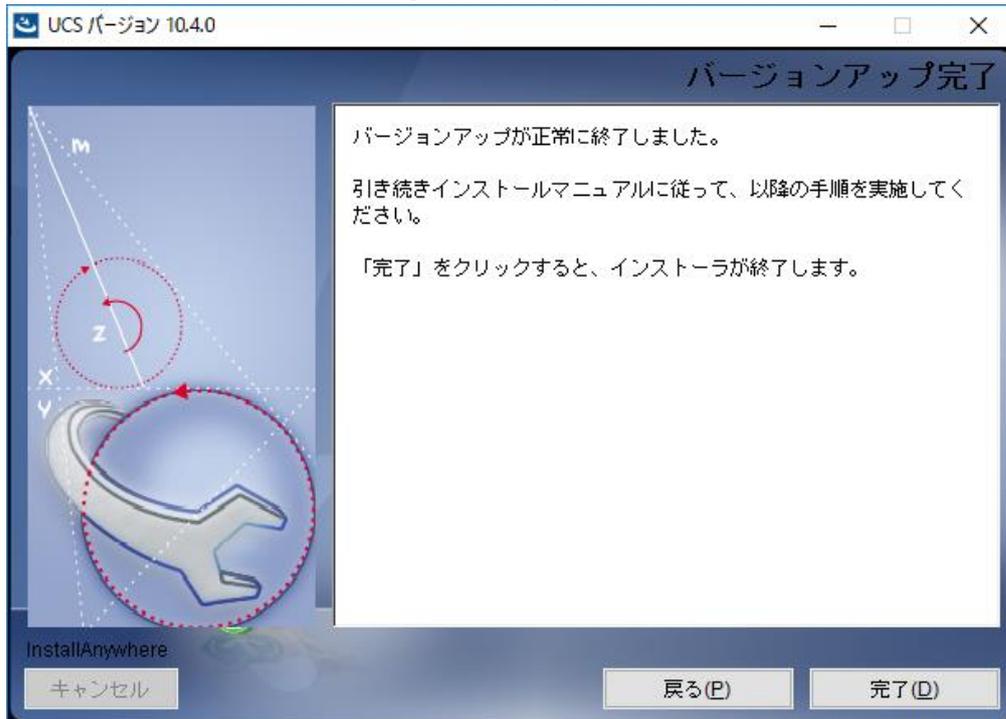
「Finish」をクリックするとPostgreSQLのインストール画面が閉じられ、U/Cインストーラが閉じられ、バージョンアップ完了画面が表示されます。



- ◆データベースのインストール先確認画面です。PostgreSQLのインストール先を変更した場合には、「選択」からインストール先フォルダを選択し「次へ」をクリックします。



- ◆バージョンアップ完了画面です。「完了」をクリックするとインストーラが終了します。引き続き、「3.2.4.不要フォルダの削除」を実施します。



### 3.2.4. 不要フォルダの削除

ここまでの手順が問題なく完了すると、以下フォルダが作成されています。U/Cサーバの運用には不要となりますので、サーバの空き容量が逼迫する場合は削除してください。

- (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Update\_10.4.0

※ 上記フォルダと同じ階層にフォルダ「Storage\_10.4.0」も作成されています。こちらのフォルダは、旧バージョンのバックアップを含みますので、削除は避けてください。

なお、U/Cサーバの運用には不要となりますので、フォルダの圧縮や別サーバへの移動は問題ありません。

### 3.2.5. サービス設定変更

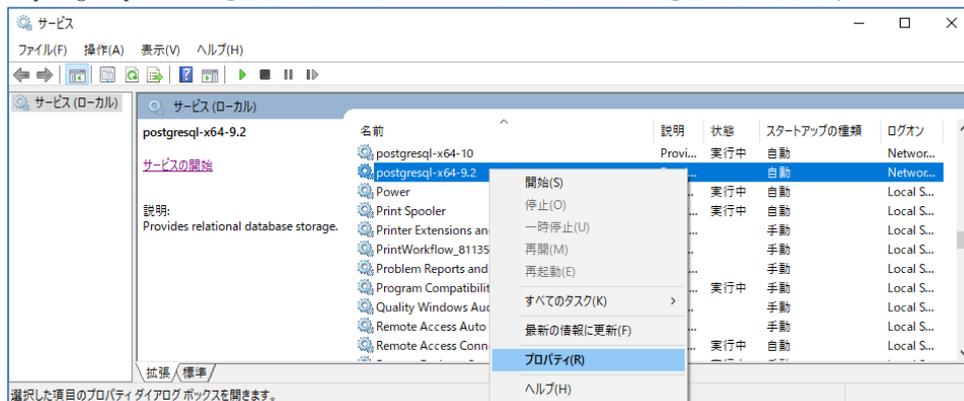
U/C10.2.0以前からバージョンアップされる場合のみ必要な手順です。

U/C10.3.0からバージョンアップされる場合は本手順の実施は不要です。

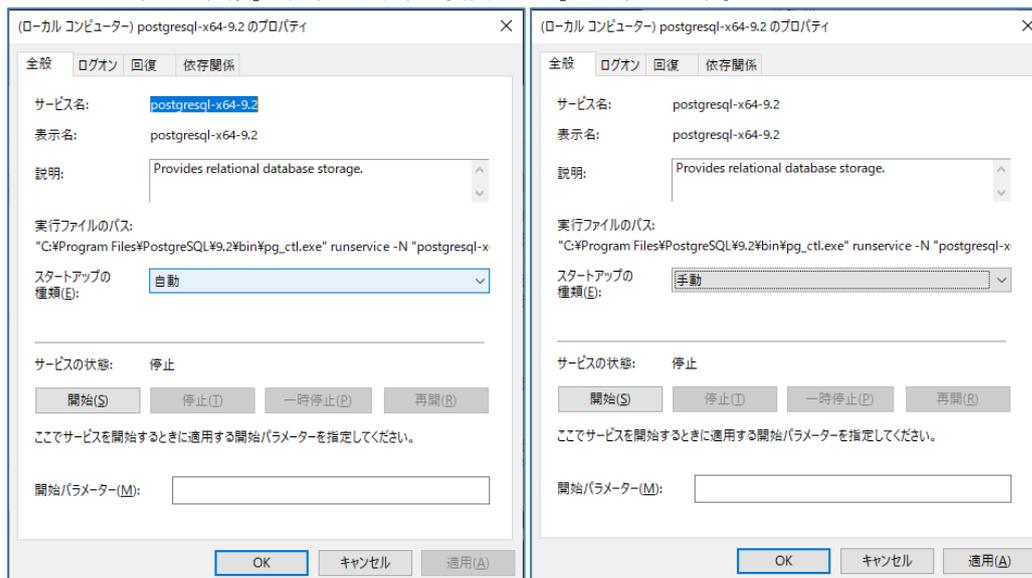
◆Windowsのサービスを起動します。

コントロールパネル > 管理ツール > サービス を開きます。

「postgresql-x64-9.2」を右クリックし、メニューの中から「プロパティ」をクリックします。



◆「スタートアップの種類」を自動から手動に変更し「OK」をクリックします。



### 3.2.6. U/Cサーバの起動

最後に、U/Cサーバを起動してバージョンアップ作業は完了となります。

グループポリシー設定やOSタスクスケジューラ設定による自動起動の運用を行っている場合は、OS再起動を実施してください。ucsコマンド実行による手動起動の運用を行っている場合は、「UCサーバ10.4.0オペレーションマニュアル」の『10.1.U/Cサーバの手動起動』を参照し、U/Cサーバを起動してください。

## 3.3. SystemManager、TaskManagerの別端末でのバージョンアップ

本節では、U/Cサーバのバージョンアップを行った端末以外で、SystemManager、およびTaskManagerのバージョンアップを行う手順を説明します。

SystemManager、およびTaskManagerを別端末にインストールしている場合、以下の手順に沿って必ずバージョンアップを行ってください。なお、本手順はU/Cサーバのバージョンアップ完了後に実施してください。

- ※ 別端末でのバージョンアップを行う必要がないお客様は、本手順の実施は不要です。
- ※ バージョンアップを行わなかった場合、U/Cサーバを正常に操作できない可能性があります。

- 1) はじめに、SystemManager、TaskManagerをアンインストールします。詳細は、「3.2.2.SystemManager、TaskManagerのアンインストール」を参照してください。
- 2) SystemManager、TaskManagerのインストーラをU/Cサーバをインストールした端末の以下ファイルパスから取得し、インストール先の別端末にコピーしてください。コピーする場所は任意です。
  - SystemManager  
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
  - TaskManager  
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe
- 3) 別端末にコピーした上記インストーラを使用して、SystemManager、TaskManagerの順番にインストールします。それぞれのインストーラをダブルクリックで実行し、画面に従ってインストールを実施してください。

## 3.4. エラーが発生したときは

バージョンアップ実行時にエラーが発生した場合、インストーラの画面にエラーメッセージが出力されます。以下の表から対応方法を確認してください。

ログファイルの確認を促すメッセージが出力された場合には、ログファイルに出力されたメッセージを確認してください。なお、ログファイルは以下ファイルパスに配置されています。

- (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage\_10.4.0¥logs¥error.log

対応方法に記載のないメッセージが出力された場合や不明点がある場合は、広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

### 3.4.1. 対応方法

#### ◆U/Cサーバのプロセス状況に関するメッセージ

メッセージ	対応
UIServerが停止していません。	該当のサービスを停止してください。 停止手順は「UCサーバオペレーションマニュアル10.4.0」の『10.2.U/Cサーバの手動停止』をご参照ください。
UcsLogが停止していません。	
postgresql-x64-9.2 が起動していません。 UCController、ScheduleControllerの状況確認を省略します。	PostgreSQLサービス(postgresql-x64-9.2)を起動してください。起動手順は以下の通りです。 ①コントロールパネルを開き、「管理ツール」から「サービス」を起動する ②一覧で「postgresql-x64-9.2」サービスを選択する ③右クリックメニューから「開始」をクリックする
UCController が停止していません。	該当のプロセスを停止してください。 停止手順は「UCサーバオペレーションマニュアル10.4.0」の『10.2.U/Cサーバの手動停止』をご参照ください。
ScheduleController が停止していません。	

#### ◆現行モジュールのバックアップ取得に関するメッセージ

メッセージ	対応
バックアップ取得フォルダが存在しません。	(U/Cインストールフォルダ)¥operationフォルダ配下にフォルダ「Storage_10.4.0」が存在することを確認してください。存在しない場合はフォルダ「Storage_10.4.0」を作成し、再度インストーラを実行してください。
SystemManager.exeのコピーに失敗しました。	バックアップ取得対象のフォルダやファイルに読み取り権限がない可能性があります。 メッセージに出力されたフォルダやファイルの読み取り権限を確認してください。
TaskManager.exeのコピーに失敗しました。	
binのコピーに失敗しました。	
libのコピーに失敗しました。	
confのコピーに失敗しました。	
UIサーバ(war)のコピーに失敗しました。	
version.txtのコピーに失敗しました。	

◆新規モジュールの更新に関するメッセージ

メッセージ	対応
SystemManager.exeの削除に失敗しました。	新規モジュールへの入れ替え対象となるフォルダやファイルに実行権限がない可能性があります。メッセージに出力されたフォルダやファイルの実行権限を確認してください。
TaskManager.exeの削除に失敗しました。	
binの削除に失敗しました。	
libの削除に失敗しました。	
ucs-common.propertiesの削除に失敗しました。	
UIサーバ(フォルダ)の削除に失敗しました。 <sup>1</sup>	
UIサーバ(war)の削除に失敗しました。 <sup>2</sup>	
version.txtの削除に失敗しました。	実行権限に問題がないことが確認できたら、削除に失敗したフォルダやファイルを手動で削除してください。
SystemManager.exeの配置に失敗しました。	
TaskManager.exeの配置に失敗しました。	
binの配置に失敗しました。	
libの配置に失敗しました。	
ucs-common.propertiesの配置に失敗しました。	
UIサーバ(war)の配置に失敗しました。	
version.txtの配置に失敗しました。	新規モジュールへの入れ替え対象が配置されるフォルダに書き込み権限がない可能性があります。メッセージに出力されたフォルダやファイルの書き込み権限を確認してください。

◆データベース更新に関するメッセージ

メッセージ	対応
現行バージョンのバージョン番号が取得できませんでした。	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.4.0¥backup¥UcsProgram¥version.txt」が存在することを確認してください。
適用バージョンのバージョン番号が取得できませんでした。	「(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥version.txt」が存在することを確認してください。
不正なアップデートが検出されました。	現行のU/Cサーババージョンよりも古いバージョンを適用しようとしている可能性があります。バージョンアップを中止してください。

◆PostgreSQLのアップデートに関するメッセージ

メッセージ	対応
現行バージョンのバージョン番号が取得できませんでした。	PostgreSQLサービス(postgresql-x64-9.2)が起動していることを確認してください。
データベースのダンプファイル取得に失敗しました。	
適用バージョンのバージョン番号が取得できませんでした。	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Update_10.4.0¥¥update_module¥operation¥init¥application¥postgresql-10.10.0-1-windows-x64.exe」が存在することを確認してください。
データベースバージョンアップ実行ファイルの作成に失敗しました。	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.4.0¥¥end」フォルダに書き込み権限がない可能性があります。該当フォルダの書き込み権限を確認してください。

<sup>1</sup> UIサーバ(フォルダ)は「(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥tomcat¥webapps¥ucs-ui-server」フォルダです。

<sup>2</sup> UIサーバ(war)は「(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥tomcat¥webapps¥ucs-ui-server.war」ファイルです。

### 3.4.2. インストーラの再実行

エラー発生原因への対応完了後、再びインストーラを実行することで、バージョンアップを再開することができます。バージョンアップを再開する場合は、「3.2.バージョンアップ手順」に従ってインストーラを再実行してください。

※ 一度、インストーラを実行した際に作成されたフォルダやファイルは削除しないでください。削除された場合、バージョンアップを正常に再開することができません。

## 4. U/Cサーバのアンインストール

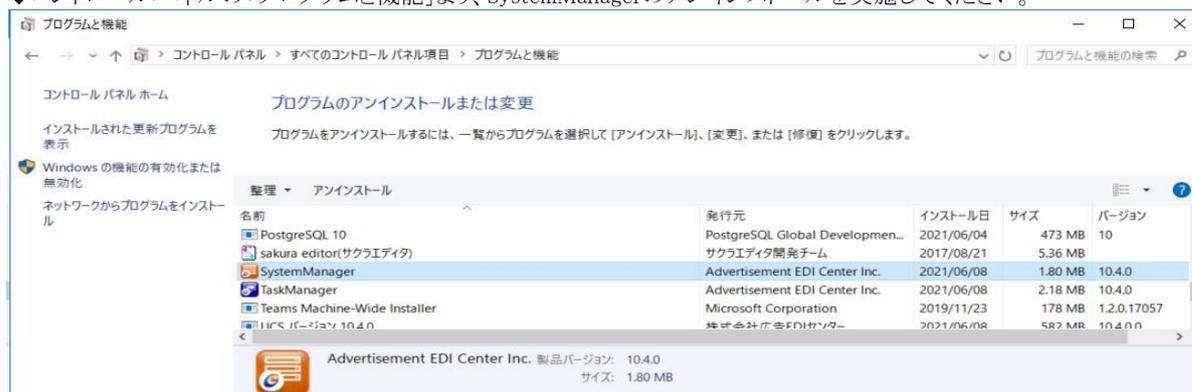
本節ではU/Cサーバのアンインストール手順を説明します。  
アンインストールは次の順番で実施します。

- 1) SystemManagerのアンインストール
- 2) TaskManagerのアンインストール
- 3) PostgreSQLのアンインストール
- 4) 広告EDI UCSのアンインストール
- 5) ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール) の削除
- 6) システム環境変数の削除
- 7) U/Cサーバ起動設定の削除
- 8) データベースのデータの削除
- 9) U/Cインストールフォルダを削除

### 4.1. アンインストール手順

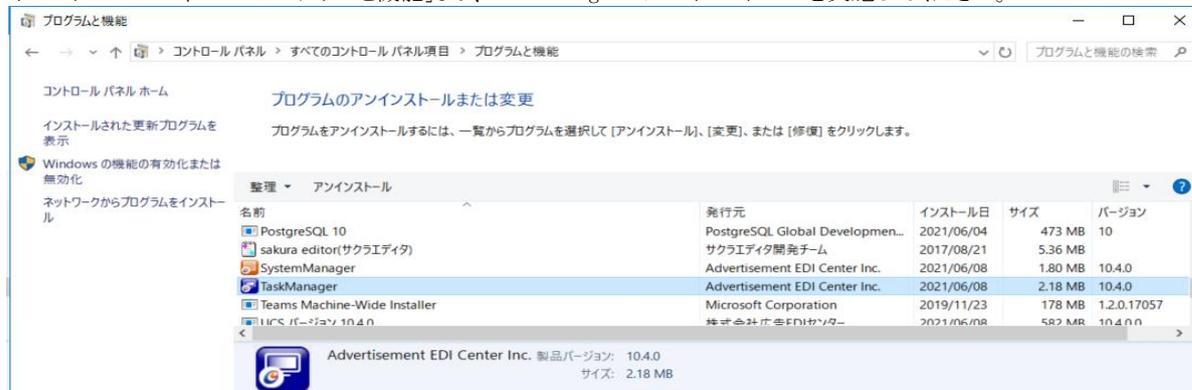
#### 4.1.1. SystemManagerのアンインストール

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、SystemManagerのアンインストールを実施してください。



#### 4.1.2. TaskManagerのアンインストール

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、TaskManagerのアンインストールを実施してください。

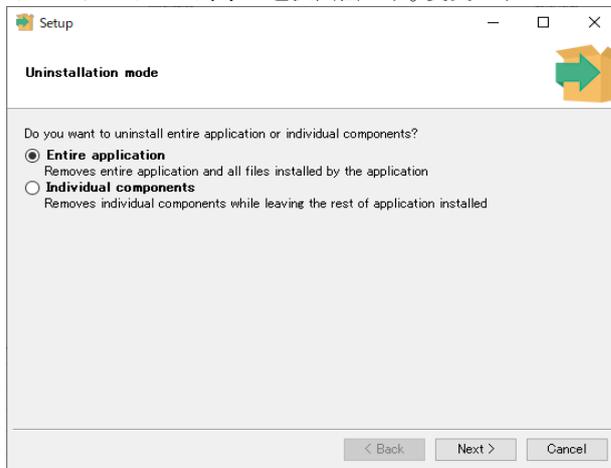


### 4.1.3. PostgreSQLのアンインストール

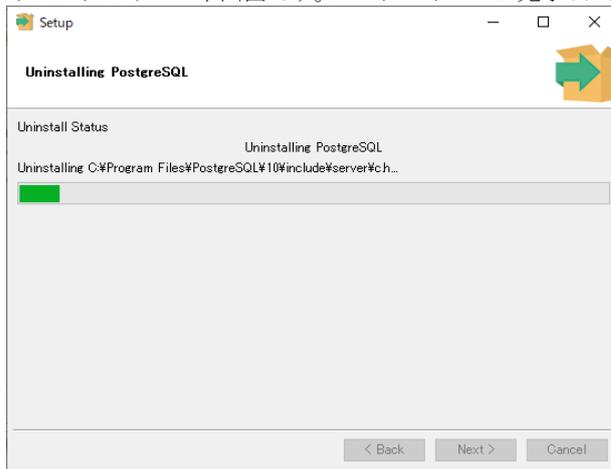
◆コントロールパネルの「プログラムと機能」にてPostgreSQL 10 をアンインストールしてください。



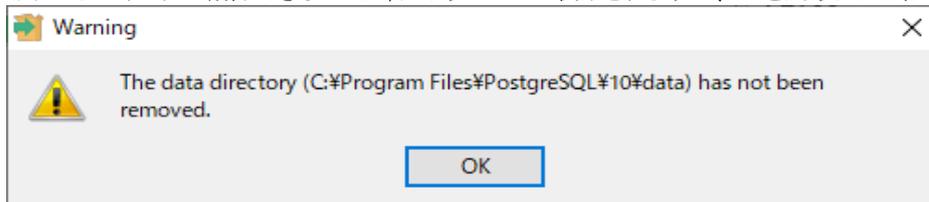
◆アンインストール対象の選択画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。



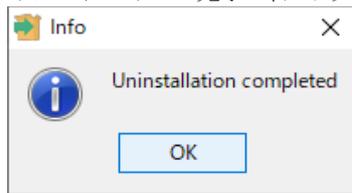
◆アンインストール中画面です。アンインストールが完了したら自動で画面が閉じます。



◆データフォルダが削除できなかった旨のメッセージが表示されますが、OKをクリックしてください。

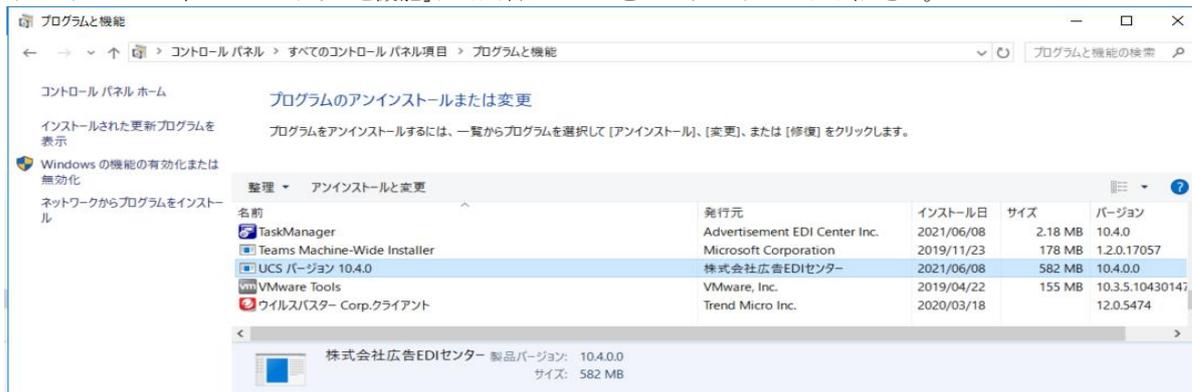


◆アンインストール完了の旨のメッセージが表示されます。

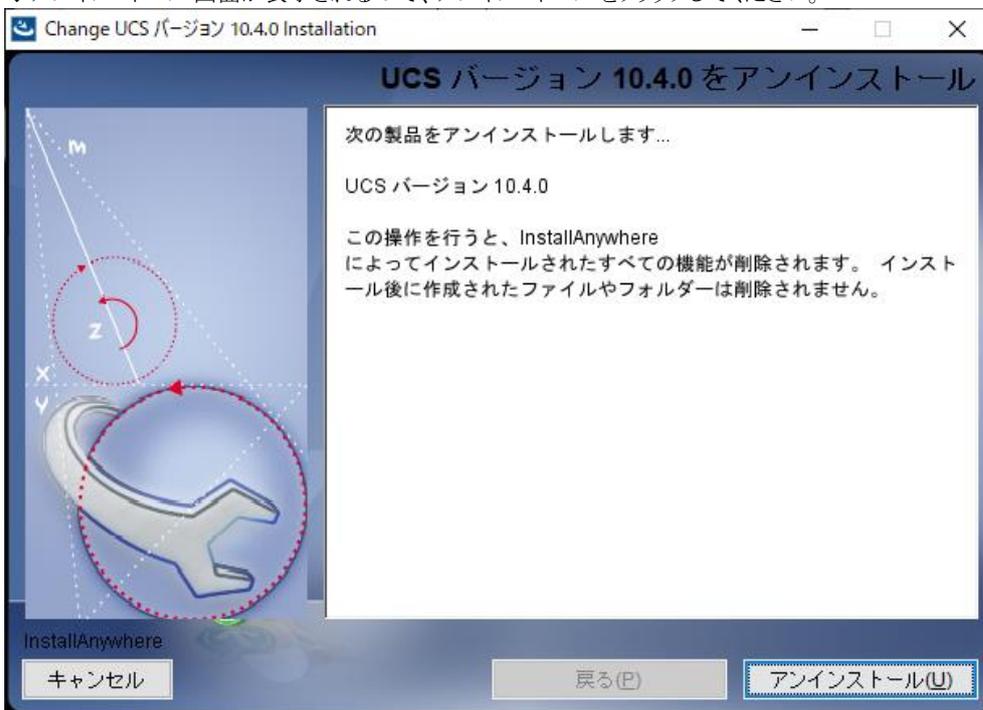


## 4.1.4. 広告EDI UCSのアンインストール

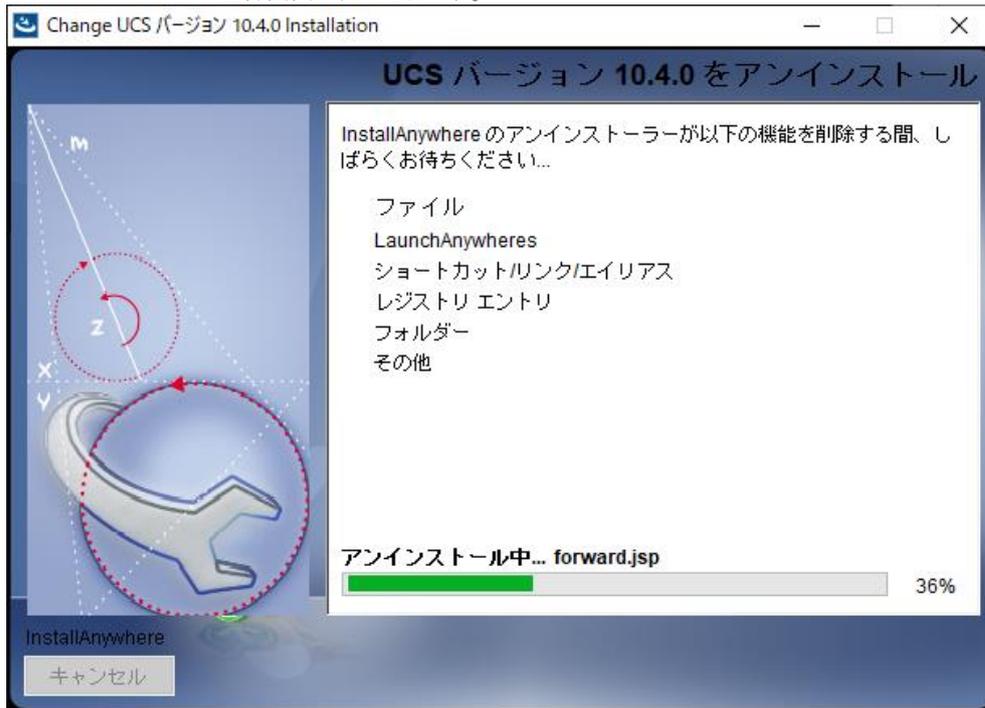
◆コントロールパネルの「プログラムと機能」にて広告EDI UCSをアンインストールしてください。



◆アンインストール画面が表示されるので、アンインストールをクリックしてください。



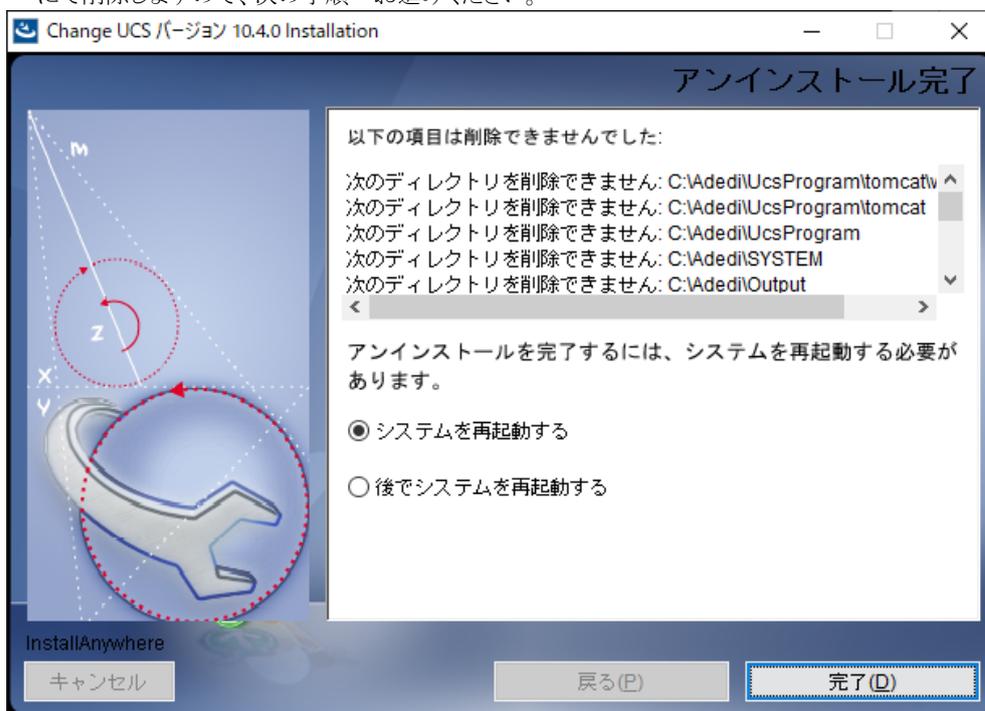
◆アンインストールの進行画面が表示されます。



◆自動でアンインストールは進み、完了画面が表示されます。

「システムを再起動する」を選択し、「完了」をクリックしてください。OSの再起動が行われます。

なお、複数のフォルダが削除できなかった旨のメッセージが表示されますが、「4.1.8.U/Cインストールフォルダの削除」にて削除しますので、次の手順へお進みください。



完了をクリックすると、アンインストールが終了します。

## 4.1.5. システム環境変数の削除

広告EDI UCSのインストールによって、以下の情報がシステム環境変数に登録されています。

必要に応じ「表 4-1 システム環境変数 登録内容」の内容を削除してください。システム環境変数の設定は、コントロールパネルのシステムより、システムの詳細設定を開くことで確認ができます。

表 4-1 システム環境変数 登録内容

変数	値	説明
Path	PostgreSQLインストールフォルダ¥bin	インストール時に既存の変数Pathの末尾に値が追加されます
POSTGRESQL	PostgreSQLインストールフォルダ	インストール時に新規作成される変数です
UCS_HOME	広告EDI UCSインストールフォルダ	インストール時に新規作成される変数です

## 4.1.6. U/Cサーバの起動設定の削除

「2.1.3.U/Cサーバの起動設定」において追加した設定は自動で削除されません。グループポリシーエディタより登録した設定を削除してください。

## 4.1.7. データベースのデータの削除

PostgreSQL をインストールしたフォルダ(初期値ではC:¥Program Files¥PostgreSQL¥10¥)に『data』というフォルダが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

## 4.1.8. U/Cインストールフォルダの削除

広告EDI UCSをインストールしたフォルダ(初期値ではC:¥Adedi¥)にユーザ情報やログなどが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

## 4.1.9. ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール)の削除

「2.2.1.ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール)」において追加した設定は自動で削除されません。Windowsファイアウォール画面より手動で追加した設定を削除してください。

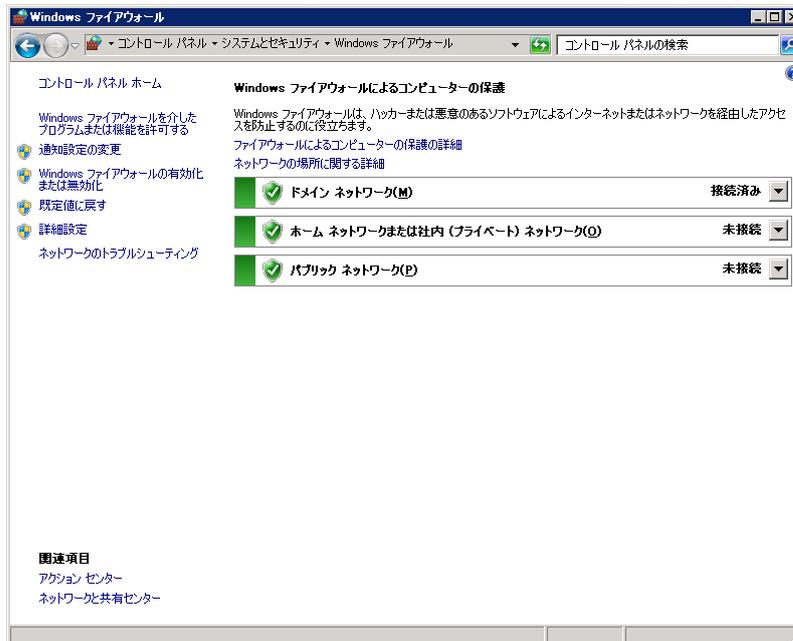
※ ポートの使用許可設定を行っていないお客様は、本手順の実施は不要です。

# 付録

---

# 付録A. Windowsファイアウォール設定手順

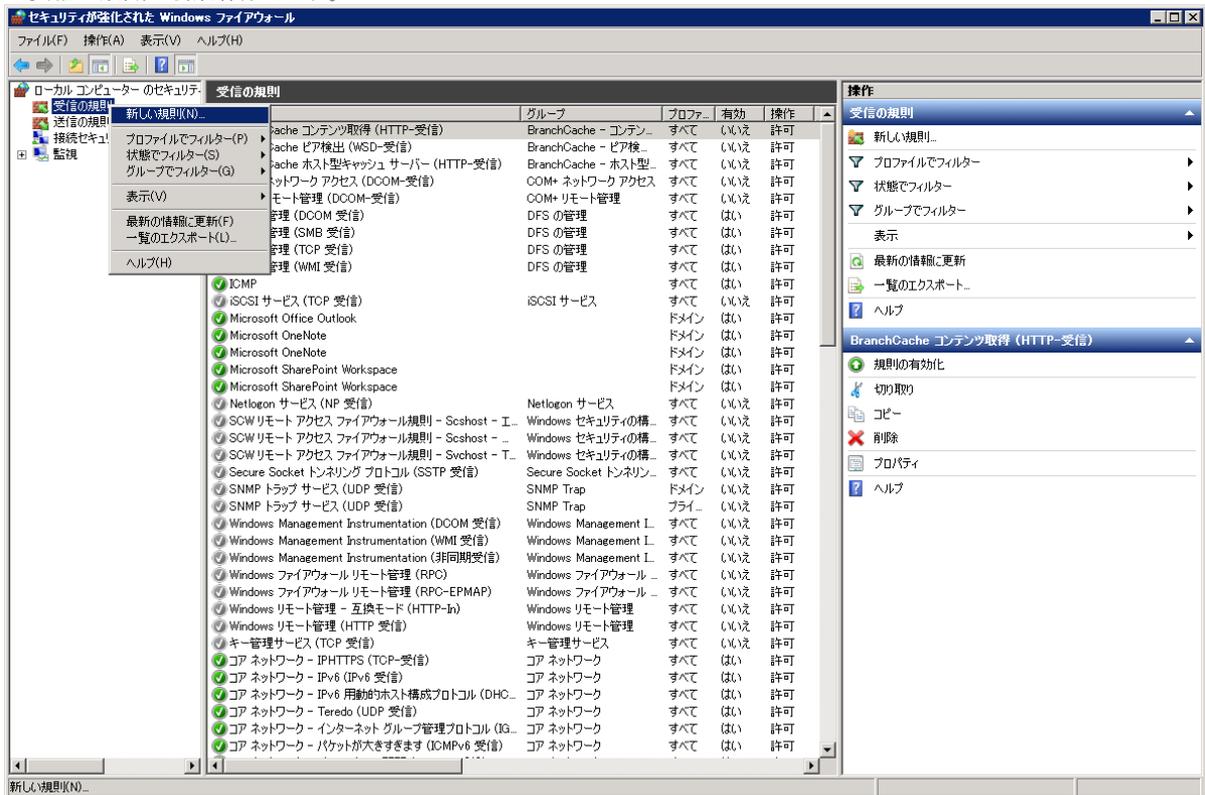
◆ Windowsコントロールパネルより、Windows ファイアウォールを開きます。



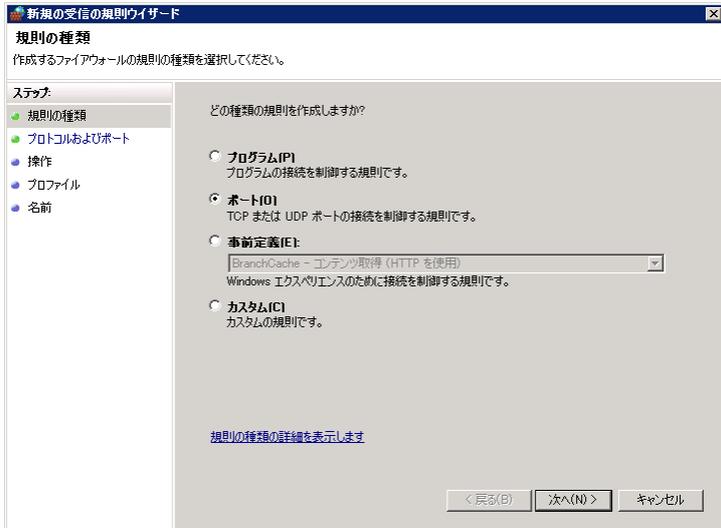
◆ 詳細設定を開きます。



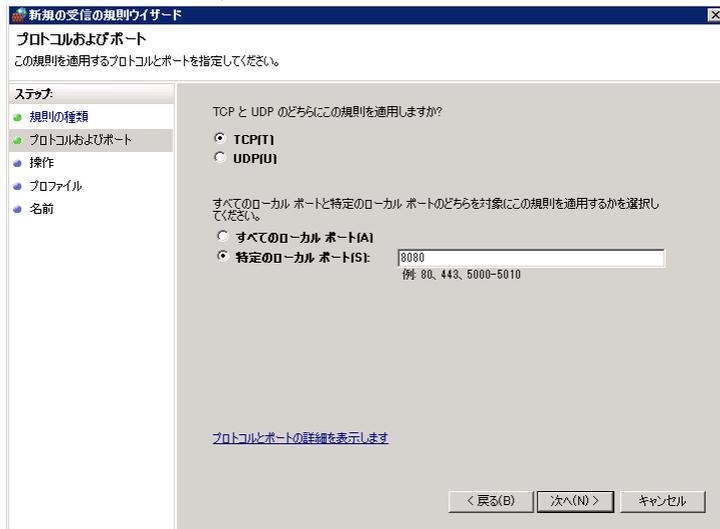
◆受信の規則を新規作成します。



◆ポートに関する規則を新規作成します。



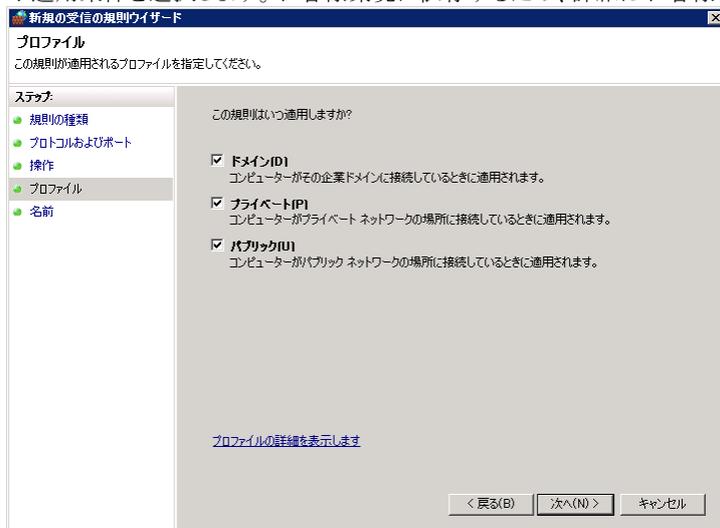
◆特定のローカルポートとして、U/Cで使用するポート番号を入力します。「表 2-3 U/Cサーバで使用する通信ポート」を参照し登録してください。



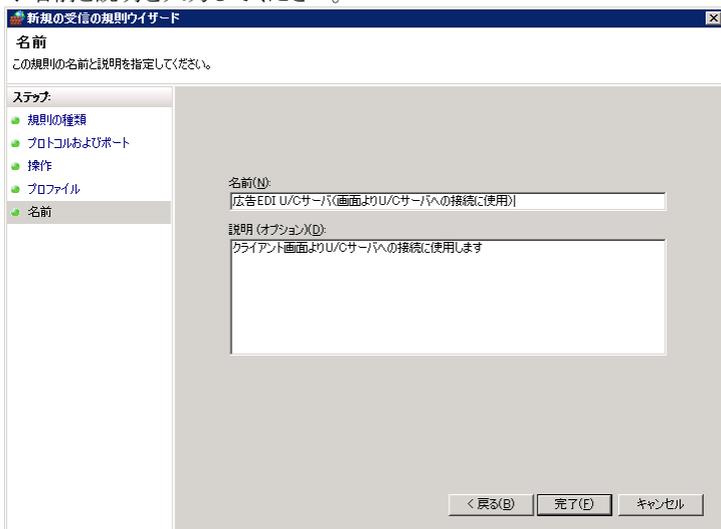
◆「接続を許可する」を選択してください。



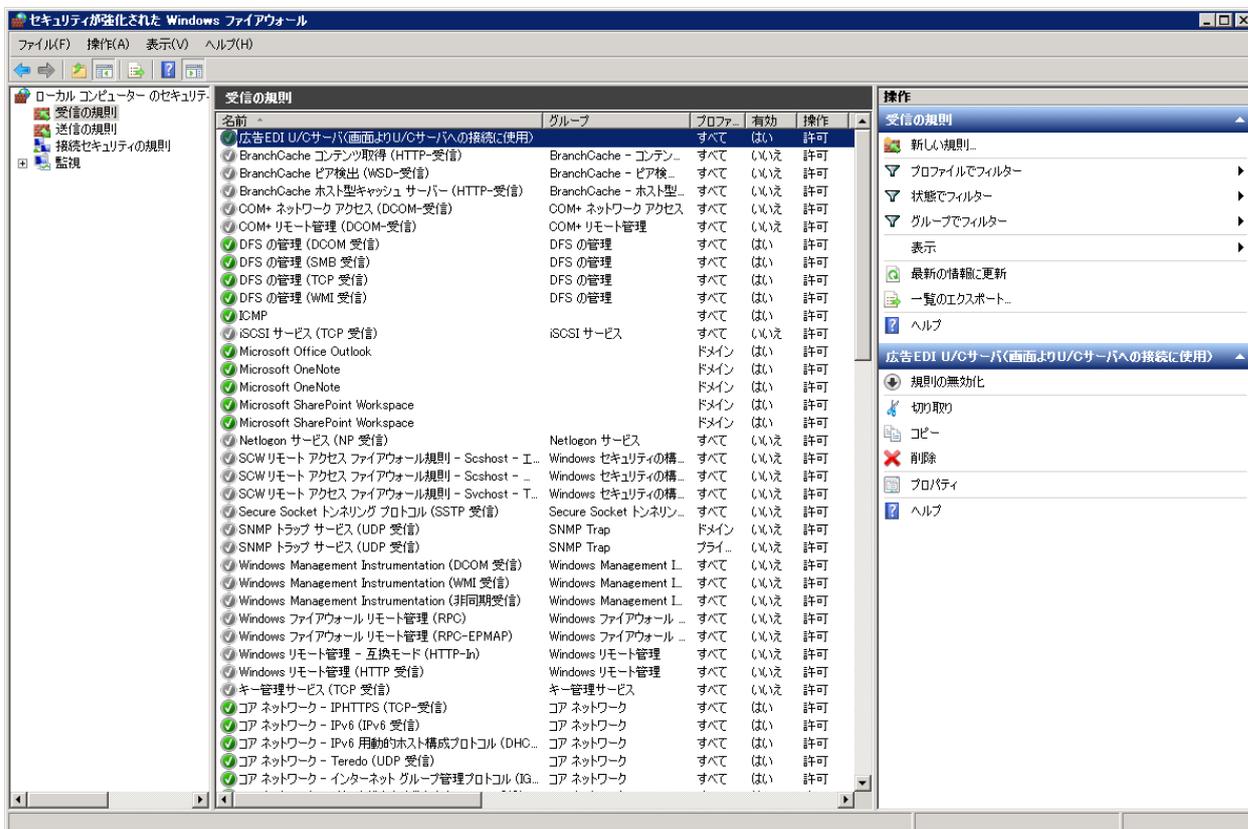
◆適用条件を選択します。お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。



◆名前と説明を入力してください。



完了をクリックすると登録されます。



登録内容が画面に表示されることを確認してください。